

令和元年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書(案)

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

1. 法人の概況

事務局所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 57-7551
代表者職氏名	: 理事長 大池良平
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

令和2年3月31日現在

社会福祉事業	第一種	施設種別: 障害者支援施設(生活介護・施設入所支援) 名称: ふじの木園(定員50名) 施設長名: 春日井 昌市
	第二種	事業種別: 障害福祉サービス事業(生活介護) 名称: ときわ作業所(定員55名) 施設長名: 滝 正直
		事業種別: 地域活動支援センター(Ⅱ型) 【江南市指定管理】 名称: 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ(定員25名) 施設長名: 春日井 裕美
		事業種別: 地域活動支援センター(Ⅲ型) 【江南市指定管理】 名称: 江南市心身障害者小規模授産施設(定員概ね15名) 施設長名: 滝 正直
		事業種別: 障害福祉サービス事業(短期入所) 名称: ふじの木園(定員5名) 施設長名: 春日井 昌市
		事業種別: 障害福祉サービス事業(共同生活援助(介護サービス包括型グループホーム)) 名称: ときわホーム「ニコット」(定員6名) 施設長名: 滝 正直
		事業種別: 障害福祉サービス事業(特定相談支援) 名称: ふじの木園 施設長名: 春日井 昌市
公益事業	事業種別: 貸館事業【江南市指定管理】 名称: 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ(定員25名) 施設長名: 春日井 裕美	
	事業種別: 日中一時支援事業 名称: ときわ作業所(定員5名) 施設長名: 滝 正直	
	事業種別: 日中一時支援事業 名称: ふじの木園(定員5名) 施設長名: 春日井 昌市	

3. 職員数

令和2年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別		施設長	副施設長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
		常勤	非常勤														
ふじの木園	施設入所支援 生活介護 短期入所 日中一時	常勤	正規	1 (1)		1	2	1		18	1				24 (1)	32 (1)	
			契約												0 (0)		
		非常勤								8					8 (0)		
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)						2						3 (1)	3 (1)
			契約													0 (0)	
		非常勤													0 (0)		
ときわ作業所	生活介護 日中一時	常勤	正規	1 (1)	1 (1)	1				8 (8)	1				12 (10)	27 (15)	
			契約							5 (2)					5 (2)		
		非常勤					1 (1)			9 (2)					10 (3)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)	1 (1)	1 (1)				7 (7)				※8	10 (10)	16 (12)	
			契約							2 (2)				※1	2 (2)		
		非常勤								※3			4	4 (0)			
小規模	地域活動 センター (Ⅲ)型	常勤	正規	1 (1)						2	1 (1)				4 (2)	6 (2)	
			契約							1					1 (0)		
		非常勤								1					1 (0)		
あゆみ	地域活動 センター (Ⅱ)型	常勤	正規	※1						3	1 (1)				4 (1)	12 (4)	
			契約												0 (0)		
		非常勤					2 (1)			3			3 (2)		8 (3)		

法人事務局	雇用別		事務局長	事務局参事	事務局次長	事務主幹	事業主幹	事業員	事務員						計	合計
	常勤	非常勤														
		正規														
	契約														0 (0)	
	非常勤														0 (0)	

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の()は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

ア 社会福祉法人等の指導監査（愛知県）

監 査 実 施 日	令和元年8月30日
監 査 方 法	書面監査
監 査 対 象 事 項	障害者支援施設ふじの木園（運営・経理）
監 査 実 施 官 庁	愛知県福祉局福祉部 福祉総務課監査指導室

指 示 事 項	履 行 状 況
令和元年11月11日付 愛知県福祉局長 31福総第377号-23号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	特になし

イ 指定特定相談支援事業者等実地指導（江南市）

監 査 実 施 日	令和2年1月21日
監 査 方 法	実地指導
監 査 対 象 事 項	特定相談支援事業所ふじの木園（運営・経理）
監 査 実 施 官 庁	江南市健康福祉部 福祉課 障害者支援グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
令和2年1月22日付 江南市長 澤田和延 1江福第298-2号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	特になし

5. 契約に関する事項

令和2年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目的	期間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場 美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成29年 4月 1日 (平成14年4月1日)	滝 敏美	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤 昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森 博一	畑	1年	無償	自動更新
平成19年12月18日	高田 大覚	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

令和2年3月31日現在

寄付の目的	寄付者（敬称略）	件数 件	金額 円
法人本部	ふくし江南ふれあいまつり実行委員会	1件	33,550円
	(株)壺番屋	1件	31,200円
	江南市農業まつり運営協議会	1件	22,575円
	江南市ゴルフ同好会チャリティ大会	1件	150,000円
	ときわ会後援会	1件	183,265円
	松川 昇次	1件	200,000円
	佐橋 俊行	1件	50,000円
	三ツ口 和男	1件	15,000円
	匿名	2件	48,470円
	小 計	10件	734,060円
ふじの木園	森内 本造	1件	2,000円
	山崎 郁子	1件	35,000円
	匿名	1件	25,000円
	高木 康秀	1件	500,000円
	ふじの木園保護者会	3件	3,304,200円
	小 計	7件	3,866,200円
ときわ作業所	長谷川 豊	8件	96,000円
	ときわ・小規模保護者会	1件	13,200円
	小 計	9件	109,200円
合 計		26件	4,709,460円

7. 資産（土地・建物）の状況

令和2年3月31日現在

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況			抵当権設定 年月日	
			定款	登記簿		提供の有無	提供先	所轄庁の 承認の有無		
基本財産			㎡	㎡						
1 土地	江南市後飛保町高瀬69番	宅地	926.08	926.08		無				
	江南市後飛保町高瀬68番	宅地	260.00	260.00		無				
	江南市河野町五十間115番	宅地	962.00	962.0		無				
	江南市後飛保町高瀬67番1	雑種地	35	35		無				
	江南市後飛保町高瀬67番2	雑種地	57	57		無				
	江南市後飛保町高瀬67番3	雑種地	50	50		無				
	江南市後飛保町高瀬67番4	雑種地	75	75		無				
	江南市後飛保町高瀬67番5	雑種地	31	31		無				
	江南市後飛保町高瀬54番	雑種地	194	194		無				
	江南市後飛保町高瀬55番	雑種地	302	302		無				
	江南市河野町五十間87番	雑種地	321	321		無				
	江南市宮田神明町190番	畑	365	365		無				
	2 建物	江南市後飛保町高瀬69番地	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	900.32	900.32	ときわ作業所	無			
		江南市後飛保町高瀬68番地	鉄筋コンクリート造 4階建	2,112.51	2,112.51	ふじの木園	有	独立行政法人 福祉医療機構	有	平成14年2月28日
		江南市河野町五十間88番地	木造平屋建	257.35	257.35	ときわホーム	無			
江南市河野町五十間115番地										

8. 理事会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和元年 5月27日	議案第1号 理事の任期満了に伴う理事候補者の選出 議案第2号 監事の任期満了に伴う監事候補者の選出 議案第3号 職員就業規則の一部改正 議案第4号 契約職員雇用規程の一部改正 議案第5号 パート職員雇用規程の一部改正 議案第6号 平成30年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第7号 平成30年度社会福祉事業区分収支決算 議案第8号 評議員会の招集事項 報 告 理事長の職務の執行状況 （平成31年1月～平成31年3月）	有
令和元年 6月19日	議案第9号 理事長の任期満了に伴う理事長の選任 議案第10号 第三者委員の任期満了に伴う第三者委員の選任	有
令和元年 12月12日	議案第11号 評議員候補者の選出 議案第12号 評議員選任・解任委員会の招集 議案第13号 評議員選任・解任委員会委員の選任 議案第14号 第三者委員の選任	有
令和2年 3月17日	議案第15号 評議員候補者の選出 議案第16号 評議員選任・解任委員会の招集 議案第17号 理事候補者の選出 議案第18号 役員等報酬規程の一部改正（案） 議案第19号 職員就業規則の一部改正 議案第20号 職員給与等支給規程の一部改正 議案第21号 契約職員雇用規程の一部改正 議案第22号 パート職員雇用規程の一部改正 議案第23号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正 議案第24号 指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ときわホーム運営規程の一部改正 議案第25号 令和元年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第26号 令和2年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案） 議案第27号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支予算（案） 議案第28号 評議員会の招集事項 報 告 理事長の職務の執行状況 （平成31年4月～令和元年12月）	有

9. 評議員会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和元年 6月19日	議案第1号 理事の任期満了に伴う理事の選任 議案第2号 監事の任期満了に伴う監事の選任 議案第3号 平成30年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第4号 平成30年度社会福祉事業区分収支決算	有
令和2年 3月25日	議案第5号 理事の選任 議案第6号 役員等報酬規程の一部改正 議案第7号 令和元年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第8号 令和2年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案） 議案第9号 令和2年度社会福祉事業区分資金収支予算（案）	有

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
令和元年 5月21日	青山 透 石川勇男	平成30年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める	

11. 評議員選任・解任委員会の開催

開催年月日	議 題	備考
令和元年 12月24日	議案第1号 評議員の選任	
令和2年 3月25日	議案第2号 評議員選任・解任委員会の委員長の選任 議案第3号 評議員の選任	

12. 法人運営会議の開催

委員長：佐々木直(理事)

委員：中西和子(評議員) 三ツ口和男(前施設長)

滝正直(ときわ作業所施設長) 春日井昌市(ふじの木園施設長)

事務局：本間浩平(事務局次長) 春日井裕美(事務局次長)

古田貴(事務主幹) 林宏和(事業主幹)

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和元年 5月22日	・5月理事会 ・6月定時評議員会、理事会 ・社会福祉充実計画	

令和元年 12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・12月理事会 ・12月評議員選任・解任委員会 ・旧養護老人ホーム「むつみ」施設の利活用に関する提案 	
令和2年 1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・制裁等審査(非違行為の概要及び処分(案)) 	
令和2年 2月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び予算の骨子 ・規程等の一部改正 ・3月理事会、臨時評議員会の予定議案 ・職員の確保定着・処遇改善 	

1.3. 事務局会議の開催

委員長：春日井昌市(事務局長)

委員：滝正直(事務局参事) 本間浩平(事務局次長) 春日井裕美(事務局次長)
古田貴(事務主幹) 林宏和(事業主幹)

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和元年 5月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・5月法人監査、法人運営会議、理事会 ・6月定時評議員会、理事会 ・5月後援会新旧合同役員会・5月後援会総会 	
令和元年 6月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・7月後援会役員会 ・法人本部の令和元年度事業計画及び第2期中期計画 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成 ・心身障害者(児)連絡協議会主催行事 	
令和元年 7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成 ・心身障害者(児)連絡協議会主催行事 ・職員体制(ときわホーム職員体制等) ・あゆみ休日・夜間管理 	
令和元年 8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・第39回ときわバザー ・職員の確保定着に向けた取り組み ・契約職員の正規職員登用試験実施要綱の一部改正 ・令和元年度の契約職員の正規登用試験の実施 	
令和元年 9月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・9月後援会役員会 ・旧養護老人ホーム「むつみ」施設の利活用に関する江南市への提案 ・給食提供業務委託契約の変更 ・重要事項説明書の一部改正(各事業所) 	
令和元年 10月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ときわ作業所職員配置・利用者定員・ときわホーム職員配置の調査・研究 ・職員面談・ヒアリングの実施 ・特定処遇改善加算の算定開始への対応 	
令和元年 11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉充実計画(充実残高の状況) ・地域生活支援拠点、新規グループホーム、ときわ作業所定員及び職員配置、あゆみ・小規模の次期指定管理の調査・研究 ・労働時間の客観的な把握義務、半日単位・時間単位の年次有給休暇の規定等の調査・研究 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・特定処遇改善加算の算定開始への対応 ・台風15号及び台風19号にかかる義援金 	
令和2年 1月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・3月法人運営会議 ・事業計画及び予算骨子 ・規程等の改正 ・3月理事会、3月評議員会 	
令和2年 2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策 	
令和2年 3月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策 ・3月理事会、評議員選任解任委員会、臨時評議員会 ・3月後援会役員会 ・時間外労働・休日に関する協定書提出及び就業規則一部変更の届け出 	

14. 法人連絡調整会議の開催

委員長：委員長：林宏和（支援主幹） 副委員長：長縄健（支援主幹）
 委員：春日井裕美（指導主幹） 古田貴（事務主幹） 大川内誠（指導主幹）
 丹羽章（支援副主任） 櫻井健司（事務員）
 総括：本間浩平（ときわ作業所副施設長）

開催年月日	主な内容	備考
平成31年 4月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告及び決算 ・あゆみ田楽会 	
令和元年 5月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・5月理事会及び6月定時評議員会 ・令和元年度各部会等の活動 	
令和元年 7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・第39回ときわバザー ・あゆみエンジョイ Summer ・心身障害者（児）連絡協議会の報告 	
令和元年 8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤者及び宿直者の健康診断 ・職員インフルエンザ予防接種 ・第39回ときわバザー 	
令和元年 11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・第39回ときわバザー ・常勤職員の健康診断 ・交流会 	
令和2年 1月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員の健康診断 ・事業計画及び予算骨子 ・交流会について 	
令和2年 2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び予算 ・交流会の反省 ・令和2年度の各部会、委員会 	

15. 事務職会議の開催

委員長：古田貴（事務主幹） 副委員長：櫻井健司（事務員）
 委員：三浦里夏（事務員） 薮下卓也（事務員）

開催年月日	主 な 内 容	備 考
平成31年 4月5日	・決算について	
令和元年 5月8日	・理事会・評議員会について	
令和2年 1月9日	・予算骨子について	
令和2年 2月14日	・予算について	

1 6. 社会福祉充実計画（平成29年度～令和3年度）

令和元年度に予定した取り組みとして、職員の処遇改善は、処遇改善手当等の継続、ふじの木園の支援員に支給する特別勤務手当の定額制への変更、特定処遇改善加算の算定に向けた準備を行った。

キャリアパスの拡充は、施設・事業所内のグループの進捗管理と調整等を担う職として「グループリーダーの職」を追加した。

また、3か年度目を終え、職員の処遇改善及び職員の増配置について一定の効果があつたことに対して、社会福祉充実費（事業費）を予定より多い額で、早く執行したため、令和2年度（4か年度目）に予定した「職員の処遇改善」及び「職員の増配置」は、令和元年度末時点の社会福祉充実残高を活用して実施し、当年度で終了とし、令和3年度（5か年度目）に予定した「入所系施設開設」については、社会福祉充実計画とは別に、自己資金・補助金・借入金等を活用し取り組む内容に変更することとした。

1 7. 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業等の方向性

主な検討事項の中から、新たなグループホームの整備を中心に着手し、それ以外の事業についても、具体的な検討を継続した。

[主な検討事項]

・新たなグループホームの整備

用地について、江南市との協議を重ねている段階であり、事業形態については、新たな事業である「日中サービス支援型」の調査・研究を行った結果、職員体制の維持等の課題から、従来の「介護サービス包括型」を選択することとした。

・ふじの木園（定員の見直し、個室化）

定員は見直し後の40名体制に向け、受入れ体制を継続中。個室化については、ニーズの再確認のため、保護者会役員が中心となり保護者を対象にアンケート調査を行った結果、保護者46名中36名（78.3%）の回答があり、内18名（50%）が個室化の「必要がある」と答えた。「必要がない」と答えた方は、1名（2.8%）、「どちらでもかまわない」と答えた方は、14名（38.9%）であったが、半数以上の方に個室化の希望があることを確認し、感染症クラスター対策やプライバシーの確保等を含めて個室化の検討を継続した。

・ときわ作業所（定員の見直し、大規模修繕）

定員の見直しは、増減後の運営体制等について調査を進めた。

大規模修繕には至っていないが、老朽化対策として外壁の撤去とフェンスの整備、地盤の陥没に伴う排水管の修繕等を実施した。

・地域生活支援拠点等の整備

江南市が事務局として行う地域生活支援拠点検討部会に参加し、整備方法は地域の機関が分担して機能を担う「面的整備型」で行う方向性を確認した後、複数の機能の前提となる「緊急時のサービス利用」について協議を重ね、部会としての「緊急時」の定義を定めた。

(2) 職員の処遇改善と人員配置

職員の処遇改善については、新規職員向けの研修「フレッシュ職員ノート」及び全職員を対象にした「面談・ヒアリング」を実施し、働きやすい職場づくりの醸成につなげた。

人員配置については、法人の社会福祉充実計画に基づき、各事業所の欠員等に備えた増配置に向けた取り組みを行った結果、新たに支援員2名を配置することができたものの、退職者もあり標榜する職員体制には僅かに至っていない。

(3) 法人本部・各施設・事業所の第2期中期計画の検証

法人本部・各施設・事業所の第2期中期計画(令和元年度)の達成度や実施状況等を検証した後、次年度の中期計画の内容の改善や見直しの必要性を整理し、令和2度の事業計画の中に位置付けた。

18. 新型コロナウイルス感染症対策

利用者の感染リスクの回避と健康を第一に考え、生活上の留意点、各活動の実施方法、保護者や外部業者の対応等をまとめた法人共通の「新型コロナウイルスの対応について」を基本に感染症対策を実施した(令和2年3月31日現在 利用者・保護者・職員に感染発症者なし)。

令和元年度 ふじの木園（支援施設） 事業報告書（案）

1 ふじの木園の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定障害者支援施設(施設入所支援・生活介護事業)
 施設名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 障害者支援施設
 (1) 施設入所支援 50名(現員46名)
 (2) 生活介護 50名(現員46名 施設入所と同者)
 (3) 短期入所 5名(随時)
 (4) 日中一時支援 5名(随時)

対象者 障害支援区分4以上(50歳以上は区分3以上)である者
 職員等 [職員]・常勤24名・非常勤8名 計32名
 [他]・嘱託医(内科)1名
 ・講師(音楽療法・軽運動)3名 計4名

職員

(単位:人)

	施設長	サービス管理責任者	事務員		支援員	
			事務主幹	事務員	グループリーダー	支援員
男	※ ₁ 1	1	0	0	1	7
女	0	0	0	1	1	9 (8)
合計	1	1	1		18(8)	

	看護師	栄養士	合計
男	0	0	10
女	2	1	14 (8)
合計	2	1	24 (8)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は特定相談支援事業所施設長を兼務

2 事業総括

障害者支援施設

(1) 施設入所支援・(2) 生活介護

施設入所支援は、夜間及び休日において、入浴や排せつ、食事等の支援を行ってきた。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の生活支援に加え、3つの活動班からなる生産活動、音楽療法等の療育活動及びクラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。

施設の課題である利用者の高齢化、障害の重度化の進行への対応として、立位補助具や介護ベッド等を適切に活用し、一人ひとりへの安全な支援を行ってきた。その中で、適度な運動や換気、手洗い等日常生活の中において健康的な生活に向けての見直しを行ったことで、規則正しい生活に対する意識を持つことができ、健康的な生活につなげることができた。

生産活動は支援員の欠員等により体制が整わない日もあり、実施回数は昨年度と同程度であったが、少人数で生産活動に取り組む特別班の実施等、自主製品のクッション、エコバッグの製作数の確保に努めることができた。また、休日余暇の見直しを行い、外出以外にも施設内でおやつ作りや中庭での運動等も行い、休日の充実につなげることができた。利用者数は、男性1名の長期入院に加え、男女数名の利用者が入院をしたが、今年度中の退所はなかった。また、感染症の発症による自宅静養者等がいなかったことから、年間を通しての利用延べ人数、1日当たり平均利用人数ともに増加した。

利用料収入は、昨年度より22,474,681円、率では11.5%の増収となった。

(3) 短期入所・(4) 日中一時支援

短期入所は、家庭の事情による急な受け入れもあったが、特定相談支援事業者や江南市基幹相談支援センターとの連携により、円滑なサービスを提供することができた。

日中一時支援は、他の通所系事業所での活動後からの一時的な受け入れ等により、必要な支援を行うことができた。

短期入所、日中一時支援の利用率は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から

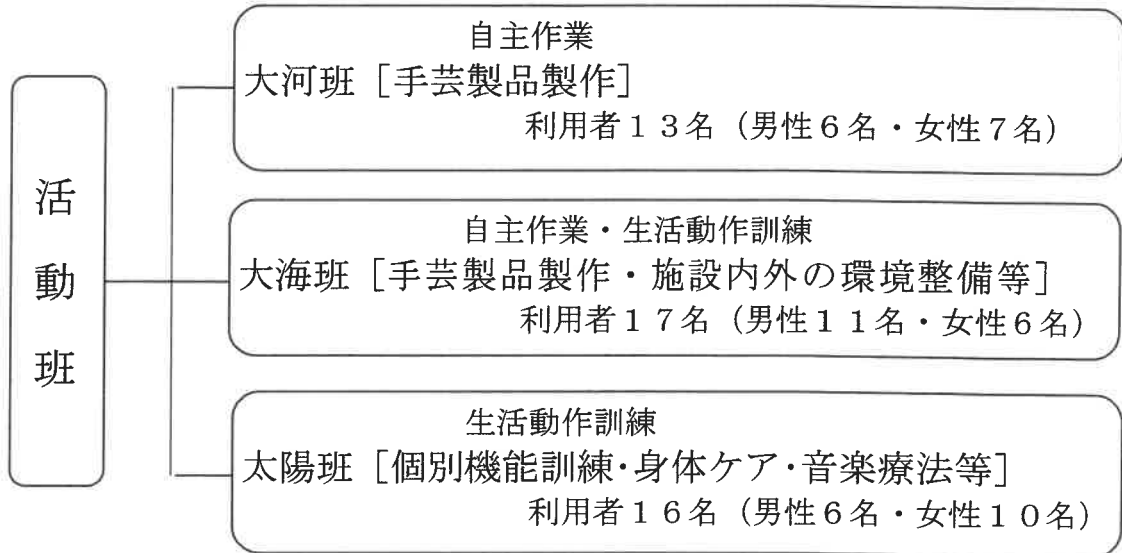
受け入れ休止等の対応をとったこと等により減少した。合わせた額で昨年度より1,163,755円、率では15.6%の減収であった。

事業内容

1 生産活動

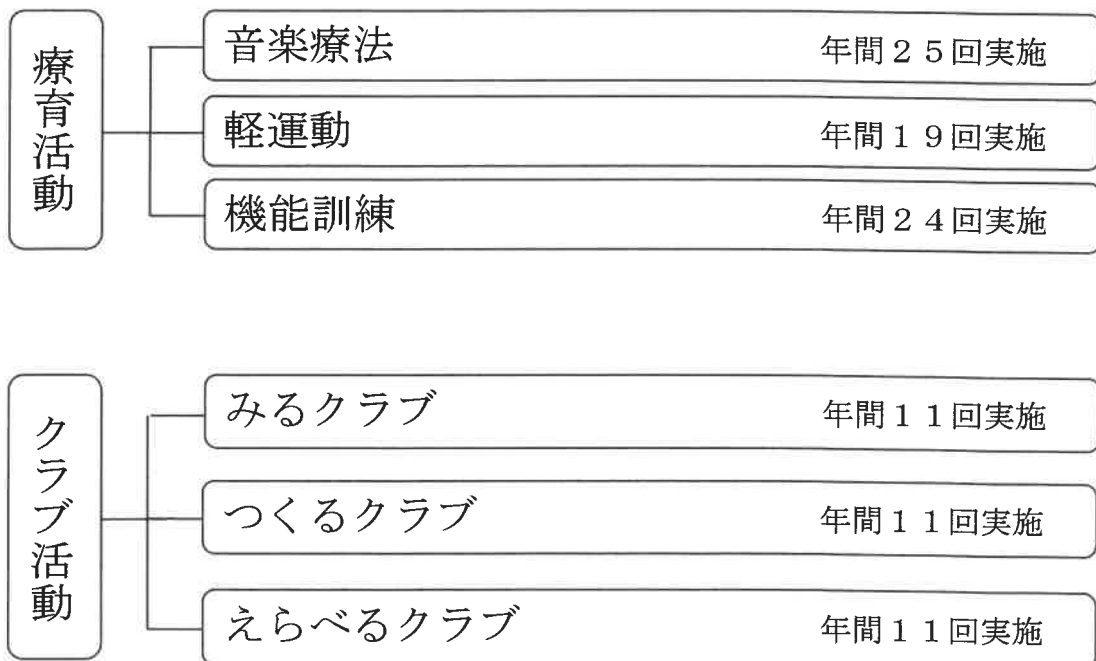
利用者の作業能力に応じた様々な生産活動を通して、身体機能や生活能力の向上を図った。

令和2年3月31日現在



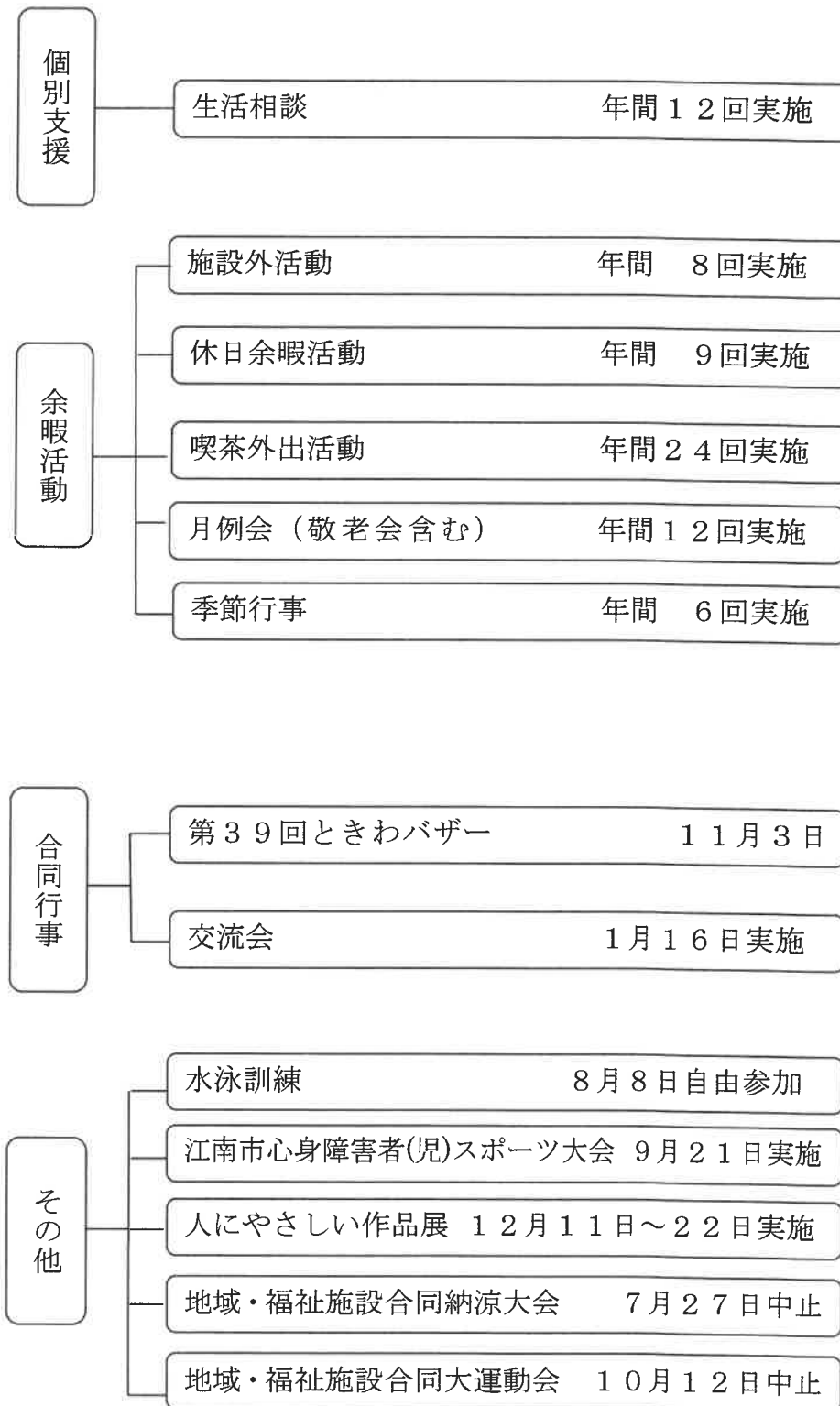
2 創作的活動

音楽やスポーツ、書道やDVD鑑賞等の創作的活動を通して、興味や趣味を持ち、施設生活の向上を図った。



3 その他の活動

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、施設生活の充実と地域への積極的な参加を図った。



4 医療支援

看護師2名の体制になり、利用者の方々のバイタル測定やケガや疾病等の状態観察等、心身の変調等に対応できるようになった。また、高齢者の肺炎、気管支炎などのリスクの高い疾患に対応して吸引等の医療処置が充実し、休日にも交代で処置等の対応ができた。

感染症予防期間の対応について、安全面や健康面を考慮した内容に見直しを図った。体への影響を考慮し、消毒液を使用した清掃等を中止したが、換気や手洗いについてより強化したことで、インフルエンザや感染性胃腸炎が一例も発症することがなかった。また、新型コロナウイルスの感染防止のため、感染症対策期間を延長した中で、館内の消毒清掃や利用者の状態把握等、より強化した内容に変更し現在も継続して行っている。

例年実施してきたインフルエンザ予防接種や利用者の健康診断、夜勤・宿直者健康診断に加え、5年に1回の肺炎球菌ワクチン接種、風疹抗体価検査及び風疹予防接種が加わり、日程調整を行いながら無事終えることができた。

【入院】

精神科1件

その他の診療科5件(肺炎・胃潰瘍・便秘・脊椎炎など)

【通院】

症状が安定している慢性症状の治療を嘱託医へ移行することを進め、月に1回の内科回診を利用して皮膚症状(湿疹、乾皮症、白癬)、眼症状(結膜炎)、処方可能な安定剤や睡眠剤等を処方していただくことで、外部通院の回数を減らすことができた。また症状に応じて呼吸器内科や整形外科、泌尿器科、精神科などの紹介をいただき専門医の受診につなげ、入院加療や嘱託医と地域医療機関と連携を図ることができた

【回診・その他の取り組み】

- ・内科回診 12回 藤原誠治医師(藤原医院院長)
- ・歯科健診 6月27日 尾北歯科医師会
- ・利用者・非常勤職員健康診断 7月31日 名古屋公衆医学研究所
- ・肺炎球菌ワクチン接種 [3回に分けて実施]
10月1日、8日 藤原医師
- ・支援員(夜勤者)健康診断 11月12日 藤原医師
- ・利用者・職員インフルエンザ予防接種 [2回に分けて実施]
11月19、26日 藤原医師
- ・手洗い講習 10月30日 魚国総本社
- ・風疹抗体価検査 12月10日 藤原医師
- ・風疹予防接種 1月7日、2月18日 藤原医師
- ・利用者健康診断 2月25日 藤原医師
- ・常勤職員健康診断 2月上旬 江南厚生病院健診センター
- ・体重測定 年12回実施
- ・血圧測定 年12回実施

5 給食支援

季節のおすすめ献立の提供に変更し、旬な食材の栄養と料理について利用者への説明を行い、体を整えることの大切さを伝えることができた。

給食委託業者と施設が互いに協力し、食事の配膳順序や時間等の工夫をすることで温かい食事の提供に努めることができた。

[主な取り組み]

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| ・行事食 | その都度（7月うなぎ丼、2月恵方巻き等） |
| ・セレクトメニュー | 毎月1回（鶏肉のトマト煮 又は 鮭のちゃんちゃん焼きの選択等） |
| ・誕生者リクエストメニュー | 誕生日（誕生者が希望した一品） |
| ・季節のおすすめ献立 | 月1回（かつおのたたき・あさりのスープスパゲッティ等） |

6 地域移行への支援

施設の入所者であっても、施設生活から地域生活への移行を目標に長期的な取り組みとして、「外出して～をしたい」、「～へ外出に行きたい」等の日頃の利用者からの希望を勧奨して、ショッピングモール等の地域資源を活用し、地域社会との関わりに努めた。

7 ときわホームへのバックアップ

主に夜間や休日における医療や災害等でときわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。

令和元年度 緊急対応 0件

8 防犯対策

相模原で起きた障害者施設での殺傷事件以降、防犯対策を強化するため以下の取り組みを行った。

[主な内容]

- ・防犯訓練の実施 防犯システムの操作説明、不審者侵入時の対応と防犯システムを活用した初期動作について 11月18日
一人ひとりが防犯への意識(施錠の徹底と確認、来訪者への職員からの声掛け、施設周辺の安全確認等)を持つことの重要性を確認することができた。
- ・防犯カメラ・記録システム、ガラスセンサーの設置後の点検

9 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し

利用者の地域移行(グループホーム等)に伴う大規模な入所施設の縮小と共に居室の個室化を見据え、新規入所者の受け入れは見合わせ、今年度は46

名の利用者支援を行っている。

定員減による支援内容や日課については支援員会議等で研究を進めた結果、来年度は、重度者・高齢者と軽度者・若年者とを住み分けた日課の構築に向けていくこととなった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 個人を尊重した個別支援

月1回の昼食時にその日の献立や気分によって、選択できる「ふりかけセレクト」を実施した。選べる楽しみにもつながり、定着した取り組みにすることができた。また、利用者の重度化・高齢化が進む中で、健康状態や精神状態等に合わせた食事提供方法や提供場所の検討を行った。食堂以外の静かな環境で食事を摂取することができる居室や娯楽室等を活用したことで、誤嚥防止や安定した食事摂取量を確保することができ、健康回復や健康維持につなげることができた。

理美容を訪問業者に切り替えたことで、パーマや髪染め等、これまでより幅広い髪型等の選択を行うことができる環境を整備した。

イ 職員連携

月1回開催している支援員会議を利用者支援に関わる事項の検討や行事計画書を作成するに当たっての前年の反省等振り返りを行う場とした。活発に意見を出し合うことで、支援員間の連携強化と統一した利用者支援や行事のスムーズな遂行につなげることができた。

ウ 災害時の対応

非常災害対策計画の見直しを行うとともに、洪水時の避難確保計画を策定し整備を行った。

生産活動報告

1 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

職員体制が整わない時には、少人数で作業活動を実施する特別班を組むことで製品製作数の確保につなげた。通常の活動ではクッション、エコバッグを利用者の能力等の応じた役割分担にすることで、効率よく行うことができた。また、作業の合間等に適宜散歩を取り入れることで、気分転換を図ることができた。

2 大海班

[手芸製品製作]自主作業

クッション製作は、大河班との分業により、綿ちぎり、綿切り、綿と布の仕分け作業を精力的に取り組み、効率の良い製作につなげることができた。

くるみボタンゴムの製作を引き続き行い、徐々に販売数も伸ばすことができたが、ランチョンマットとコースターセットは在庫過多となってきたことから製作数を調整した。

[生活動作訓練] 個別機能訓練・施設周辺の清掃活動・洗濯

手芸製品作製の他に、利用者の高齢化、重度化に対応するため、ペグボードや立体色並べの器具を使い、指の動作訓練等にも取り組んだ。

施設の中庭の清掃や施設周辺の地域清掃活動にも年5回取り組むことができ、環境美化に努めることができた。

火曜日と金曜日に洗濯たたみと各居室まで洗濯物を運ぶ活動を行ったが、生産活動以外の時間帯で洗濯たたみを行う日課が長く定着していることから、利用者にも戸惑いが見られた。また、職員体制が整わず、生産活動が実施できない日もあり、定期的に取り組むことが困難で定着に至らなかったことから、洗濯たたみの作業を見合わせ通常の活動を実施することとした。また、天気の良い日には散歩に出かけ、気分転換を図ることができた。

3 太陽班

[生活動作訓練] 個別機能訓練、身体ケア、音楽療法

重度化、高齢化が進む中で、引き続き、男女利用者別で、個々の状態に応じた機能訓練やペグボードや型はめ等の指先の生活動作訓練、絵本の読み聞かせや音の出る絵本、CDによる音楽療法やDVD鑑賞を行った。また、少人数での散歩や適宜足浴やマッサージ等を行うことで、精神安定にも努めた中で、身体機能維持増進を図ることができた。

創作的活動報告

1 療育活動

①音楽療法

4月に開催した家族との会食会（よろしくね会）や1月の合同行事である交流会の発表に向けて、音楽療法の際や休憩時間に練習に取り組んだ。課題曲の歌の練習では、歌いながらダンスをして体を動かす等楽しく行うことができた。課題曲の練習以外でも季節の歌を歌ったり、太鼓やハンドベル等の楽器を使った演奏をしたりすることができ、音楽に親しみ楽しく参加してもらうことができた。

年間25回実施

[行事での発表曲]

4月 これからもよろしくね会

「ともだちになるために」合唱、手話

「みんながみんな英雄」合唱、打楽器(マラカス、オートシェイプ)演奏

1月 交流会

「パプリカ」合唱

「野に咲く花のように」合唱、ハンドベル演奏、打楽器(トッバーノ)演奏

②軽運動

年間計画や利用者のチーム分けを講師の方と話し合うことで、スムーズに取り組むことができた。講師の指導のもと、利用者がより楽しんでもらうことができるよう、必要に応じて的の位置や投球方法等の見直しを行うことで、多くの利用者に楽しんでもらうことができた。レクリエーションは活動日によって競技を変えて取り組むことで、新鮮な気持ちで競技に取り組んでもらうことができた。

愛知県障害者スポーツ大会(FD)には4名が参加した。結果は金メダル、銀メダル、銅メダルを獲得し練習の成果を大いに発揮することができた。

第20回愛知県ボッチャ競技大会には6名(3名ずつの2チーム)が参加した。結果はふじのきAチーム1位(金メダル)、Bチーム2位(銀メダル)を獲得した。全員が日頃の練習の成果を発揮し健闘したことで、試合を通じて練習の成果を確認すると共に、来年度大会へ向けての意欲につなげることができた。

江南市社会福祉協議会、江南市役所との連携により中学生や民生委員とボッチャを通じて交流することができた。

年間19回実施

[主な活動]

- ・レク(ボッチャ、的あて、ボウリング、ピンポン入れ、フクロウ投げ)
- ・ボッチャふじの木カップ(7チームによるトーナメント戦)

[大会結果]

- ・愛知県障害者スポーツ大会(フライングディスク(アキュラシー5))
利用者4名(金メダル1、銀メダル1、銅メダル1)
- ・第20回愛知県ボッチャ大会
利用者6名 Aチーム リーグ1位(金メダル)
Bチーム リーグ2位(銀メダル)

[主な活動]

- ・知的障がい者理解促進スポーツ教室(西部中学) 利用者4名

③機能訓練

作業、理学療法士が作成したプログラムに沿って、嚥下・発語訓練や棒体操、セラバンドを使用した運動に取り組んだ。また、棒体操で使用する棒を一人ひとりに作ってもらうことで、より意欲を増して取り組むことができた。

個別ADLでは、それぞれの課題点を確認し、日常生活の中でも実践した結果、関節可動域が改善し、筋力の向上や歩行の安定等につながった。

3月31日現在で計15名が参加している。

年間24回実施

[主なグループ運動]

- ・摂食・嚥下機能訓練（首や口の動き・発声練習）
- ・準備運動（上下肢・肩関節・股関節の運動等）
- ・筋力トレーニング（棒を使った運動、セラバンドを使用した運動等）

[主な個別ADL指導]

- ・体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降
- ・体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動
- ・関節可動域の維持向上を目的とした運動

2 クラブ活動

①みるクラブ

プロジェクターを使用し、地域・交流スペースでDVD鑑賞を行った。映画の内容は利用者のリクエストを聞きながら、見やすさ・楽しさを考慮した物を選んで鑑賞した。鑑賞後は、観賞した映画のキャラクター等の塗り絵を行った。完成した塗り絵を1階廊下に掲示することで、園内の人だけでなく来園者にも見て頂き、映画鑑賞の雰囲気伝えることができた。みるクラブに参加していなかった利用者の方達に塗り絵とともに感想を発表することで鑑賞していない利用者にも映画の楽しさを伝えることができた。

年間11回実施

[鑑賞したDVD作品]

クレヨンしんちゃん、アラジン、となりのトトロ、アンパンマン、風の谷のナウシカ等

②つくるクラブ

季節を感じられるような掲示物等を作製した。また、月ごとのカレンダー作りでは、その月はどんな月なのかをイメージしながら絵を描いたり、行事を書き込んだりした。作製した作品を廊下等に掲示することで、たくさんの人に見て頂き季節の移り変わりを体感することができた。

年間11回実施

[作製した作品]

掲示物（鯉のぼり等）、カレンダー、書初め

③えらべるクラブ

利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動“えらべるクラブ”を行った。活動内容は以下の通り。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4	公園散策	10	公園散策
5	公園散策	11	立体動物パズル
6	公園散策	12	スノードーム
7	ちぎり絵	1	スノードーム
8	ジグソーパズル	2	ちぎり絵
9	公園散策	3	近場の散歩

・公園散策（4、5、6、9、10、3月）

ご自身で活動内容を選択することが困難と思われる利用者を対象に、過ごしやすい時期に戸外を散策し、気分転換を図った。また、木々や草花の様子から季節を感じることができた。3月は新型コロナウイルスの感染予防のため近場の散歩に出掛ける内容に変更した。

・ちぎり絵（7、2月）、ジグソーパズル（8月）、立体動物パズル（11月）、スノードーム（12、1月）

それぞれの作品に関しては本人と職員とで話し合い、居室に飾ったり、帰省時に家庭に持ち帰ったりして、達成感等を感じることができた。

年間11回実施

その他の活動報告

1 個別支援

生活相談

月1回、希望者を対象に施設生活の中で困っていることや聞いて欲しいことを言葉や表情で理解することができ、職員の共通認識として支援に生かすことができた。また、希望者がなかった月は、近々の健康面や精神面等を考慮した中で対象者を選定し個別での機能訓練や散歩等を行いリフレッシュの時間としての活用することができた。

年間12回実施（利用12名）

- [主な相談内容]
- ・施設での生活について
 - ・帰省について
 - ・他利用者との関係について

2 余暇活動

①施設外活動

利用者の希望や季節、気候を考慮した目的地を選定し、買い物や飲食時の意思決定を尊重した活動となるよう配慮した。11月から2月の感染症対策期間は、人混みを避けるため施設外活動は行わず感染予防に努めた中で、3月も新型コロナウイルスの感染予防のためデリバリーサービスを活用し園内での食事を楽しむ内容に変更した。

年間8回実施

[主な行き先]

河川環境楽園アクアトト、清流里山公園、イオンモール木曽川、テラスウォーカー宮等

②休日余暇活動

帰省の少ない利用者を対象として、近隣の高齢者施設での催し物への参加等の外出活動を行った。地域の方々と交流や普段とは違った雰囲気を楽しむことができた。

園内の活動では、希望のおやつを購入してDVD鑑賞会やカラオケ、中庭での運動を行った他、おやつ作りを行う等、普段とは違った雰囲気の休日の1日を送ることができた。また、ときわバザーやクリスマス会等の行事の飾り物の作成や作品展の作品作りも行い、飾りつけた物を自分達で鑑賞して楽しむだけでなく、来園された保護者や地域の方々に見て楽しんでいただくこともできた。

年間9回実施

[主な行き先]

サンライフ地域感謝祭見学

[施設内での取り組み]

クリスマスツリーの飾り付け、カラオケ、DVD鑑賞、中庭での運動、園内の飾り物の作成、おやつ作り

③喫茶外出活動

主に火曜日の午後に少人数のグループで利用者の希望する喫茶店や、ショッピングモールへ行き、憩いのひと時を楽しむことができた。また、喫茶外出後にすいとぴあ江南へ立ち寄り、人にやさしい作品展を鑑賞し、楽しむ機会とすることもできた。

11月～3月の感染症対策期間は複合施設等の人混みを避けた場所での活動で感染予防に心掛けた。また、体調不良の利用者や、拒否のあった利用者については、適宜参加利用者を入れ替えることや、テイクアウトを活用するなど柔軟な対応に努め、飲食を楽しむことができた。

年間24回実施

[主な行き先]

コマダ珈琲江南村久野店、アピタ江南西店、マクドナルド江南ピアゴ店、ジョイフル江南店、イオン扶桑等

④月例会・敬老会

月例会では、施設長からの当月の行事予定と誕生者の発表、また、看護師から病気等の予防に関する話題、栄養士から旬の食材等の紹介等の話しを聞くことで、日常生活において季節を意識することができた。

誕生者のお祝いに関しては、月例会での発表と別の機会（クラブ後の発表時）でお菓子の詰め合わせ等のプレゼントとケーキを食べて祝福した。

敬老会では、60歳以上の敬老者の方の長寿のお祝いをした。

年間12回実施（内9月は敬老会）

⑤季節行事

・これからもよろしくね会(平成31年4月12日)

今年度もふじの木園の食堂と交流スペースを使用し開催したことで、食事の個別の対応や集団が苦手な利用者へ別室を用意する等の対応がしやすくなり、出席人数の増加につながった。

保護者会長による手品の披露や音楽療法で練習してきた「ともだちになるために」を歌と手話で演奏した。歌詞カードを事前に保護者に配布していた為、保護者の方も歌詞カードを見ながら曲に合わせて歌ってもらい会場が一つにまとまり、大いに盛り上がる事ができた。会食では、利用者と保護者は隣の席、職員は各テーブルに1～2名程入ることで、利用者や保護者の方と交流する機会を掴むことができた。

・七夕祭り(令和元年7月5日)

「たなばたさま」の曲を歌った後、短冊に願い事を書き一人ひとりの願い事を発表した。できあがった短冊を笹の絵の描かれた壁面に貼り笹飾りを作成した。七夕の雰囲気を楽しむことができた。後日交流スペースに掲示し、保護者の方に見ていただく機会を設けた。

・クリスマス会(令和元年12月25日)

利用者と一緒にクリスマスツリーの飾り付けを行い、ライトアップし交流スペースに飾ることで、季節感を味わうことができた。クリスマス会では、クリスマスにまつわる絵本の読み聞かせと、みんなでクリスマスソングを歌いクリスマスの雰囲気を感じることができた。最後に施設長から希望のプレゼントがもらえ嬉しそうであった。

・書初め大会(令和2年1月9日)

各々自分の書きたい言葉や正月にちなんだ手本の中から選び書いてもらい、同月のクラブ活動後に全体で発表会を行った。発表前に書初めの由来について伝え、書いた字を選んだ理由や今年一年の抱負などについて発表した。その後は地域交流スペースに掲示したことで、家族や来園者にも見てもらうことができた。

・ 節分祭り(令和2年2月3日)

代表利用者が節分のいわれを説明した後、豆に見立てた新聞紙を丸めた物を玉入れのゲーム感覚で豆まきを行った。楽しみながら季節を感じることができた。

・ ひな祭り(令和2年3月3日)

皆でひなまつりの歌を歌った後に、折り紙でひな人形を作り、楽しみながら季節を感じることができた。作製したひな人形は廊下に掲示したことで、多くの人に見てもらうことができた。

3 合同行事

①第39回ときわバザー(令和元年11月3日)

合同行事や各施設・事業所を紹介する掲示物を掲示したことで、ときわ会を地域の方に知ってもらえる良い機会となった。

模擬店の「焼きそば」を委託販売とすることで、職員を例年より多く在園者対応・保安に配置し、高齢化、重度化に対応することができた。

利用者主体のバザーを目指し、ゲームコーナーの拡充を行った。4種類のゲームそれぞれに職員が配置されたことで多くの利用者がブースに携わり、お客さんと接することができた。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園、ニコット

②交流会(令和2年1月16日)

今年度は成人者や顕彰受賞の対象者はなく、ときわ作業所、小規模授産施設、ふじの木園の交流が中心となった。音楽療法の発表、消防隊の演奏、藤花ちゃんとのふれあいは笑顔あふれる催しとなり、音楽療法の課題曲「パプリカ」を消防隊が演奏したことで一層の盛り上がる事ができた。いつもより少しおしゃれをして、毎年恒例の行事でありながらも新鮮さを感じ、楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとびあ江南

4 その他

①水泳訓練(令和元年8月8日)

利用者の重度化・高齢化及び熱中症予防のため事業所行事としての参加は中止。

②心身障害者（児）スポーツ大会(令和元年9月21日)

今年度より、例年の運動会のプログラムからレクリエーションボッチャへ変更となった。1チーム4～5人で構成した4チームで参加し、軽運動等の時間に練習を行い

試合に臨んだ。惜しくも入賞するチームはなかったが、楽しく参加することができた。

開催場所 KTXアリーナ

③人にやさしい作品展(令和元年12月11日～22日)

全体作品は、主にクラブの時間や余暇時間を活用し、模造紙に書いた下絵に色鉛筆や色紙で彩色を行い、クリスマスがテーマの絵を制作した。個人作品については、休日や余暇時間を活用し、個々で関心のある刺し子や習字、貼り絵等を作成し展示することができた。

開催場所 江南市役所西分庁舎

④地域・福祉施設合同納涼大会(令和元年7月27日)

台風6号の影響により中止。

⑤地域・福祉施設合同大運動会(令和元年10月12日)

雨天のため中止。

令和元年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	他団体協力バザー
4.12	これからもよろしくね会	4.20	藤まつり
5.25	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	～5.6	(奇数日参加)
6.27	歯科健診	5.26	こどもフェスティバル
7.5	七夕祭り		
7.23	あゆみエンジョイ Summer		
7.27	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止)		
7.31	健康診断 (移動検診車)		
9.21	心身障害者 (児) スポーツ大会 (KTXアリーナ)		
10.1	肺炎球菌ワクチン接種①		
10.8	肺炎球菌ワクチン接種②		
10.12	地域・福祉施設合同大運動会 (中止)	10.3	古知野高校文化祭
11.3	第39回ときわバザー	10.13	江南ふれあいまつり
11.19	インフルエンザ予防接種①		
11.26	インフルエンザ予防接種②		
12.11	人にやさしい作品展 ～22		
12.14	愛知県ボッチャ競技大会 (稲永スポーツセンター第1競技場)		
12.25	クリスマス会		
1.6	新年会		
1.9	書初め大会		
1.16	交流会 (すいとぴあ江南)		
2.3	節分祭り		
2.25	健康診断		
3.3	ひな祭り		
3.24	ボッチャふじの木杯		

その他		施設実習等	
月例会(敬老会含む)	年間 1 2 回実施	(介護実習)	
クラブ活動	年間 1 1 回実施	愛知県立古知野高校 8名	7月22日～ 7月 25日
保護者会	年間 1 1 回実施		7月29日～ 8月 1日
避難訓練	年間 1 2 回実施	(社会福祉士実習)	
体重測定	年間 1 2 回実施	中部学院大学 1名	8月20日
血圧測定	年間 1 2 回実施	(知的障がい者理解促進軽スポーツ教室)	
施設外活動	年間 8 回実施	江南高等学校	10月28日
休日余暇活動	年間 9 回実施		
喫茶外出活動	年間 2 4 回実施	(職員研修)	
音楽療法	年間 2 5 回実施	江南市新規採用職員研修	5月24日
軽運動	年間 1 9 回実施		
機能訓練	年間 2 4 回実施		
生活相談	年間 1 2 回実施		

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

令和2年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	14人	20人	34人	0人	25人	7人	2人
一宮市	3	0	3	0	1	2	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	23	23	46	2	30	12	2

2 障害支援区分別

令和2年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	1人	1人	7人	1人	13人	23人
女	0	1	1	7	4	10	23
合計	0	2	2	14	5	23	46

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	2人	12人	5人	4人	23人	50.4歳
女	0	0	0	6	8	5	4	23	48.9
合計	0	0	0	8	20	10	8	46	49.7

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	947人	977人	939人	1,015人	979人	951人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	43.0人	42.5人	42.7人	44.1人	42.6人	43.2人
契約人数	46人	46人	46人	46人	46人	46人
利用率	93.6%	92.3%	92.8%	95.9%	92.5%	94.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,001人	966人	1,004人	980人	918人	971人	11,648人	971人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	20日	23日	269日	22.4日
1日当たり 平均利用人数	43.5人	43.9人	43.7人	42.6人	45.9人	42.2人		43.3人
契約人数	46人	46人	46人	46人	46人	46人	552人	46.0人
利用率	94.6%	95.5%	94.9%	92.6%	99.8%	91.8%		94.1%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数43.3人 利用率94.1% 年間延べ11,648人が利用
年間稼働日数 269日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,205人	1,223人	1,172人	1,264人	1,196人	1,182人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	40.2人	39.5人	39.1人	40.8人	38.6人	39.4人
契約人数	46人	46人	46人	46人	46人	46人
利用率	87.3%	85.8%	84.9%	88.6%	83.9%	85.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,258人	1,217人	1,234人	1,175人	1,181人	1,241人	14,548人	1,212人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	30.5日
1日当たり 平均利用人数	40.6人	40.6人	39.8人	37.9人	40.7人	40.0人		39.7人
契約人数	46人	46人	46人	46人	46人	46人	552人	46.0人
利用率	88.2%	88.2%	86.5%	82.4%	88.5%	87.0%		86.4%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数39.7人 利用率86.4% 年間延べ14,548人が利用
年間稼働日数 366日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和元年度	130,655,047円	62,065,229円	5,239,176円	19,777,094円	217,736,546円
平成30年度	116,637,874円	54,008,771円	5,195,438円	19,419,782円	195,261,865円
差引	14,017,173円	8,056,458円	43,738円	357,312円	22,474,681円
前年比	112.0%	114.9%	100.8%	101.8%	111.5%

(2) 短期入所・日中一時支援

	短期入所	日中一時支援	合計
令和元年度	5,040,905円	1,238,829円	6,279,734円
30年度	6,077,484円	1,366,005円	7,443,489円
差引	-1,036,579円	-127,176円	-1,163,755円
前年比	82.9%	90.7%	84.4%

施設本体は昨年度より22,474,681円、率では11.5%の増収であった。

短期入所、日中一時支援の利用率は減少し、合わせた額で昨年度より1,163,755円、率では15.6%の減収であった。

6 日常生活動作能力別

令和2年3月31日現在

区分	性別	性別		合計
		男	女	
		23人	23人	46人
食事	全介助	3	4	7
	一部介助	9	10	19
	自立(見守り・声かけ)	11	9	20
排泄	全介助	5	6	11
	一部介助	7	9	16
	自立(見守り・声かけ)	11	8	19
着脱	全介助	5	7	12
	一部介助	3	4	7
	自立(見守り・声かけ)	15	12	27
洗面	全介助	9	11	20
	一部介助	8	7	15
	自立(見守り・声かけ)	6	5	11
入浴	全介助	7	11	18
	一部介助	9	12	21
	自立(見守り・声かけ)	7	0	7
歯磨き	全介助	8	11	19
	一部介助	6	12	18
	自立(見守り・声かけ)	9	0	9
生理	全介助	0	8	8
	一部介助	0	3	3
	自立(見守り・声かけ)	0	0	0
	終了	0	12	12

7 入院状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	1 人	4 人	5 人	[その他の診療科の主な入院内容] 精神面不安定 肺炎・胃潰瘍・便秘・脊椎炎
女	0	1	1	
合計	1	5	6	

8 通院状況別

平成31年4月1日～令和2年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	237 人	11 人	11 人	39 人	20 人	37 人	0 人	13 人	2 人	5 人		375 人
女	263	3	38	49	31	155	22	10	0	0	9 人	580
合計	500	14	49	88	51	192	22	23	2	5	9	955

(把握分)

9 服薬状況

令和2年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	19 人	4 人	23 人
女	20	3	23
合計	39	7	46

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

令和2年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	15 人	4 人	19 人
女	14	6	20
合計	29	10	39

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

令和元年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,796	71.8	41.5	534	9.6	671	0.96	1.02	103
ふじの木園基準量	1,800	66.0	40	660	11	700	1.20	1.10	100

※ 低カロリー食含

知的障害者(児)短期入所事業の状況(契約者数88名の内、27名の利用・延べ利用日数574日)

1 契約状況(市町村別)

令和2年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	43 人	17 人	60 人
一宮市	5	1	6
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	1	2	3
名古屋市	0	1	1
大口町	8	2	10
扶桑町	0	5	5
合計	59	29	88

2 障害支援区分

令和2年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	5 人	0 人	5 人
区分2	1	4	5
区分3	9	6	15
区分4	20	11	31
区分5	13	8	21
区分6	11	0	11
合計	59	29	88

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	1 人	8 人	24 人	17 人	6 人	3 人	59 人	39.4 歳
女	0	8	9	10	1	1	29	38.2
合計	1	16	33	27	7	4	88	38.8

日中一時支援事業の状況(契約者数82名の内、23名の利用・延べ利用日数215日)

1 契約状況(市町村別)

令和2年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	42 人	18 人	60 人
一宮市	6	1	7
岩倉市	0	1	1
犬山市	0	1	1
小牧市	1	0	0
扶桑町	0	4	4
大口町	7	1	8
合計	56	26	82

2 障害支援区分

令和2年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分非該当	0 人	1 人	1 人
区分1	5 人	0 人	5 人
区分2	1	3	4
区分3	8	4	12
区分4	18	11	29
区分5	13	7	20
区分6	11	0	11
合計	56	26	82

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	1 人	9 人	26 人	12 人	5 人	3 人	56 人	39.6 歳
女	1	8	9	7	1	0	26	37.6
合計	2	17	35	19	6	3	82	38.6

令和元年度 ふじの木園（相談事業） 事業報告書（案）

1 ふじの木園の運営

設置・経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定特定相談支援事業所 [特定相談支援事業]
 事業所名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 特定相談支援事業
 (1) 計画相談支援 随時
 (2) 基本相談支援 随時
 対象者 計画相談支援 障害福祉サービスを利用する者
 基本相談支援 障害者及びその家族等
 職員数 [職員]・常勤3名 計3名

(単位：人)

	施設長	相談支援専門員		合計
		相談主任	相談支援専門員	
男	※ ₁ 1		1	2
女		1		1
合計	1	2		3

※₁は障害者支援施設ふじの木園施設長を兼務

2 事業総括

(1) 計画相談支援

在宅の障害福祉サービスを利用する方の、モニタリング実施標準期間の見直しにより、モニタリングの頻度が6ヶ月に1回から3ヶ月に1回と変更になり、保護者や関係機関との情報共有をこれまで以上に速やかに行うことができるようになったため、適宜、利用者の意向の確認やサービス提供状況の把握ができ、質の良いサービス利用計画等の作成につなげることができた。

具体的には、モニタリングでの本人の意向や状況の変化に合わせて、利用する事業所の変更や居宅介護の利用回数、併用事業所間の日数調整等を行った。また、健康、医療面の支援を提供する障害福祉施設につなげ、在宅生活が困難であった利用者の長期の入院生活から退院に結び付いた。

年度の途中に1名の職員が相談支援専門員資格の研修を終えたことにより、相談支援専門員2人体制となったため、支援内容の検討等行うための相談員会議を月に1回行い、情報共有や進捗状況の把握に努め、より良いサービス提供に努めることができた。

今年度は、新規契約があったが、転居、通所施設の変更（生活介護から就労継続支援B型事業所）への移行に併せ相談支援事業所の変更等もあり、契約者は107名と、昨年と比較し1名減少した。モニタリング報告書の作成件数等により報酬は893,483円、率では29.4%の増収であった。

(2) 基本相談支援

障害福祉サービスの利用に関すること、介護保険等の手続きに関すること、補装具の申請に関すること、個々のケースに合わせて障害者やその家族からの相談に応じ、必要な情報提供に努めた。

3 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 支援事業の安定的運営

職員1名が相談業務に必要な相談支援従事者初任者研修を受講し、相談支援専門員2名の体制となった。

特定相談支援事業所の「特定事業所加算(IV)」は、現任研修受講の相談支援専門員が常勤ではなかったため、対象外で今年度は算定することができなかった。

イ 地域生活支援拠点事業への対応

江南市相談支援部会への参加により地域の動向等の情報収集、調査に努めた。

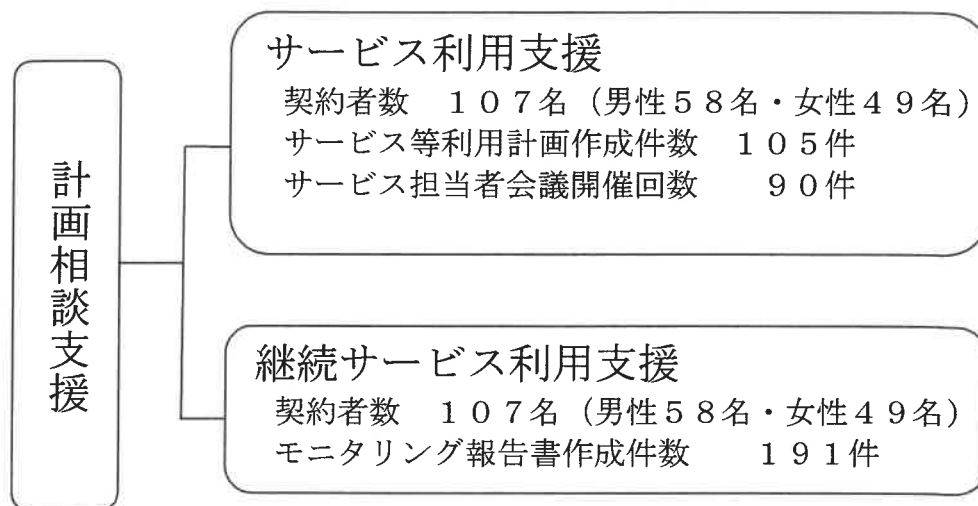
(2) 利用者サービスの向上

・ 相談支援専門員のスキル向上、業務の効率化

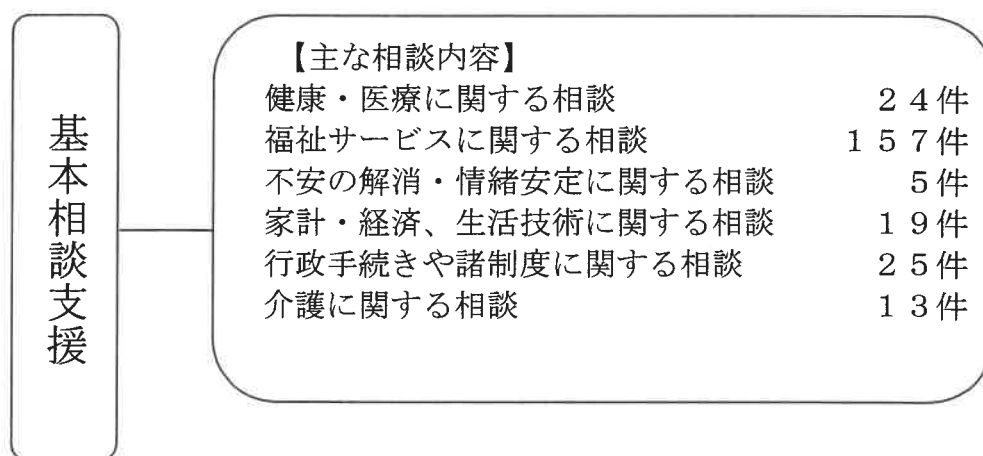
利用者を支える家族の高齢化等に伴い、今年度も相談支援専門員1名が「平成31年度成年後見実務研修」を受講し、成年後見制度についての理解を深めることができた。また、2ヶ月に一度の頻度で開催された江南市相談支援連絡会に参加し、市内の相談支援事業所の相談支援専門員との意見交換や情報共有をすることができた。江南市相談支援連絡会は江南市相談支援部会と統合されたため、より関係機関との連携や事例の共有などを行い、実際のサービス計画作成につなげることができた。

事業内容

1 計画相談支援



2 基本相談支援



計画相談支援

1 サービス利用支援

障害福祉サービスの支給量更新時に合わせてサービス等利用計画案の作成を主に行った。支給更新時は、遅滞のないサービス等利用計画の作成に努め、利用者とその家族への聴き取りを行い、情報の収集やニーズを把握し、適切なサービス利用につなげることができた。また、サービス等利用計画の作成後はサービス担当者会議を開催し関係者間での情報共有や支援方法等について協議をすることができた。

新規利用契約を関係機関で役割分担を行い、サービス利用につなげることができた。サービス利用開始後も連携し、生活状況の改善につなげている。

2 継続サービス利用支援

定められた期間ごとにモニタリングを実施し、サービスの進捗状況や生活状況、ニーズの変化等を把握し適切なサービス利用へとつなげることができた。また、モニタリングの期間外でも生活環境の変化やニーズの変化等が見られた際にはその都度モニタリングを実施し、サービス事業所との調整や変更等により利用者と家族の安心安全な生活につなげることができた。

基本相談支援

障害者やその家族からの福祉や日常生活等の相談に対して、必要に応じて障害福祉サービス事業所や行政・医療機関等の専門機関の情報提供等を行った。

【主な相談内容】

障害福祉サービス利用等における事業所の情報提供、車椅子等の補助申請や日常生活用具費の申請、介護保険への切り替え等に関する相談等

会議研修等出席状況

(会議関連)			(研修関連)		
管理会議	年間	12回	施設内研修	年間	2回
職員会議	年間	12回	外部研修	年間	3回
サービス担当者会議	年間	90件			
(部会関連)					
江南市相談支援部会	年間	6回			
江南市相談支援連絡会	年間	3回			

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別・障害等別）

令和2年3月31日現在

市町村名	性別		合計	障害等			
	男	女		知的	身体	精神	難病
江南市	48人	44人	92人	91人	9人	4人	0人
一宮市	4	2	6	6	3	0	0
岩倉市	1	0	1	1	1	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	2	0	2	2	0	0	0
合計	58	49	107	106	13	4	0

2 障害支援区分別

令和2年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	1人	4人	23人	10人	20人	58人
女	0	1	10	13	14	11	49
合計	0	2	14	36	24	31	107

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	1人	20人	24人	7人	3人	2人	58人	43.9歳
女	0	0	6	13	14	10	2	4	49	44.7
合計	0	1	7	33	38	17	5	6	107	44.3

4 月別支援状況

(1) 開所日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	20日	19日	20日	22日	18日	19日

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開所日数	21日	20日	20日	19日	18日	22日	238日	19.8日

(2) サービス等利用計画書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画作成件数	10件	7件	11件	5件	9件	10件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画作成件数	7件	6件	7件	13件	13件	7件	105件	8.8件

(3) モニタリング報告書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告書作成件数	11件	8件	17件	19件	18件	14件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告書作成件数	17件	15件	16件	18件	22件	16件	191件	15.9件

5 利用料収入の前年度比較

	金額
令和元年度	3,929,996 (円)
平成30年度	3,036,513 (円)
差引	893,483 (円)
前年比	129.4 (%)

モニタリング報告書の作成件数の増加により昨年度より893,483円、率では29.4%の増収であった。

6 障害福祉サービス利用状況

障害福祉サービス		性別		合計
		男	女	
通所・在宅系サービス	生活介護	29人	21人	50人
	短期入所	33	17	50
	短期入所(療養型)	0	0	0
	居宅介護	1	3	4
	地域活動支援センター	6	3	9
	移動支援	5	3	8
	日中一時	32	18	50
居住系サービス	共同生活援助	0	8	8
	生活介護	23	23	46
	施設入所支援	23	23	46
合計		152	119	271

※重複利用があるため、契約者数とは一致しません。

令和元年度 ときわ作業所 事業報告書(案)

1 ときわ作業所の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 地域生活支援事業
 事業所名 ときわ作業所
 所在地 江南市後飛保町高瀬69番地
 事業内容と定員 (1)生活介護 55名(現員49名)
 (2)日中一時支援 5名(随時)
 対象者 障害支援区分3以上(50歳以上は区分2以上)である者
 職員等 [職員]・常勤17名(正規12名・契約5名)・非常勤10名
 計27名
 [他]・嘱託医(精神科)1名
 ・講師(音楽療法・軽運動)4名 計5名

職員

(単位:人)

	施設長	副施設長	支援主幹 (サービス管理責任者)	事務員	支援員	
					副主任	支援員
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	1	1	※ ₃ 1	※ ₃ 5 ※ ₄ (4)
女						※ ₃ 7 (5)
合計	1	1	1	1	13 (9)	

	看護師	合計
男		10 (4)
女	※ ₅ (1)	7 (6)
合計	(1)	17 (10)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、ときわホーム副施設長を兼務

※₃は、内1名はときわホーム支援副主任(サービス管理責任者)を兼務、9名はときわホーム生活支援員を兼務

※₄は、内2名はあゆみ運転手を兼務

※₅は、あゆみ看護師を兼務

2 事業総括

(1) 生活介護

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、多くの利用者が携わることのできるボール洗浄作業が2階パンダ班の作業として定着した。個々の利用者の適性に合わせた工程で取り組み、やりがいや責任感を養うことができた。

余暇活動の社会見学では、三重県にあるおやつタウンでの見学や自分で好みの味付けをするベビースターラーメン作りを楽しみ、体験を通して教養やマナーを身に付けることができた。

健康支援は、利用者の体調把握に注視しつつ、看護師による健康チェック等を行うなど、快適に過ごせるよう努めた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。衛生面についても、食中毒防止や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

ときわホームのバックアップは、職員間で連携を図ることで、利用者の体調面及び精神面の把握をし、必要に応じた病院受診等の対応をすることができた。

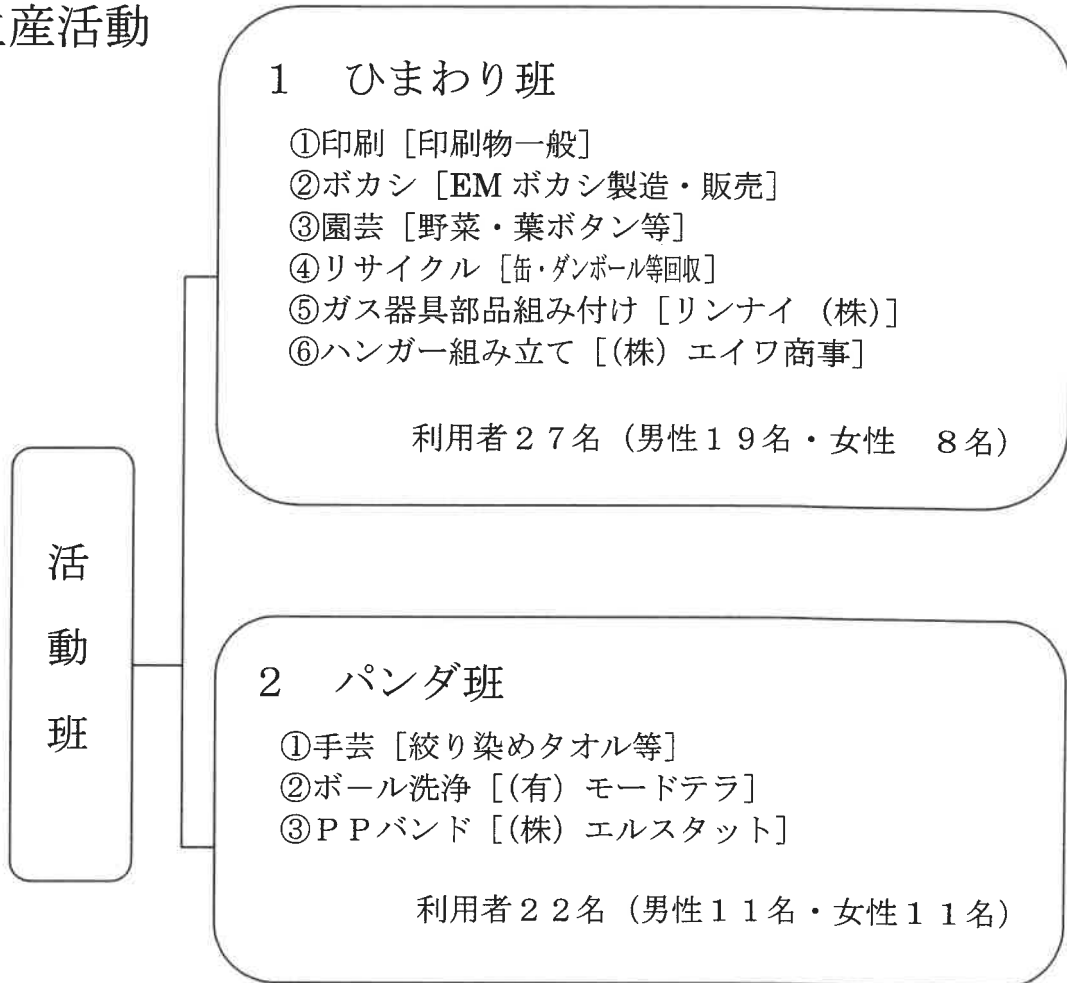
事業所の稼働日数は253日、平均利用人数は42.5人で利用率は86.2%であった。6月に県外への引っ越しにより利用者1名が退所、10月に台風による事業所休所日が1日増加したこと、長期入院をされた利用者がみえたことにより、事業所の利用料収入は、額で昨年度より、1,661,521円、率では1.8%の減収であった。

(2) 日中一時支援

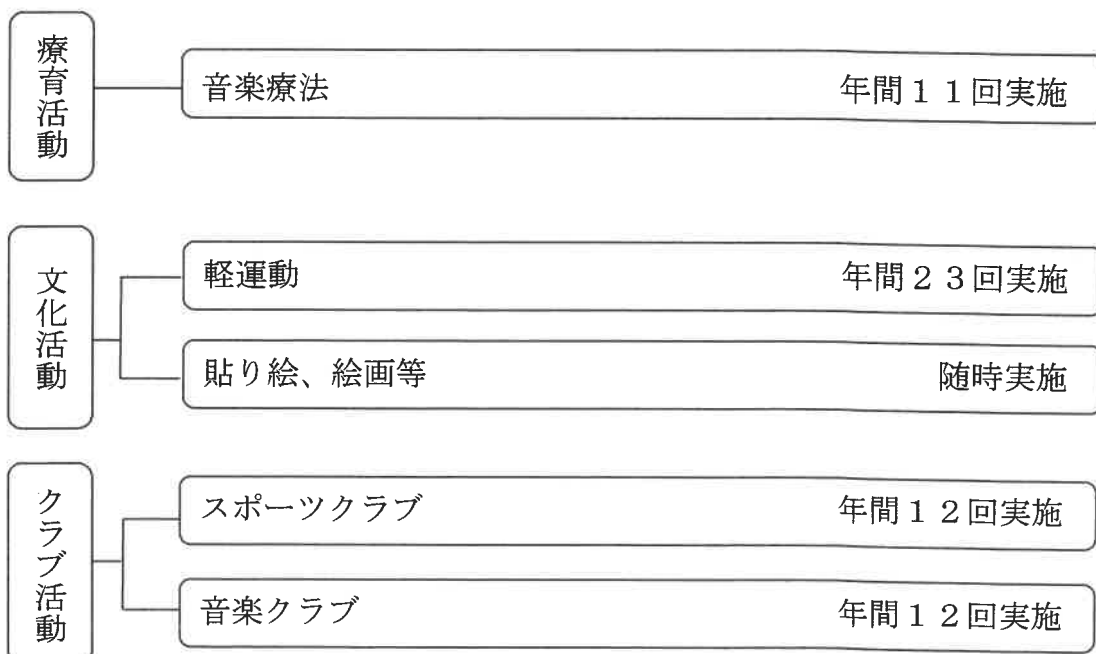
一宮東特別支援学校の生徒を夏休み期間の8月に受け入れをした。日中一時支援の利用希望者の受け入れ日数が減少し、利用料収入は、額で昨年度より78,632円の減収であった。

事業内容

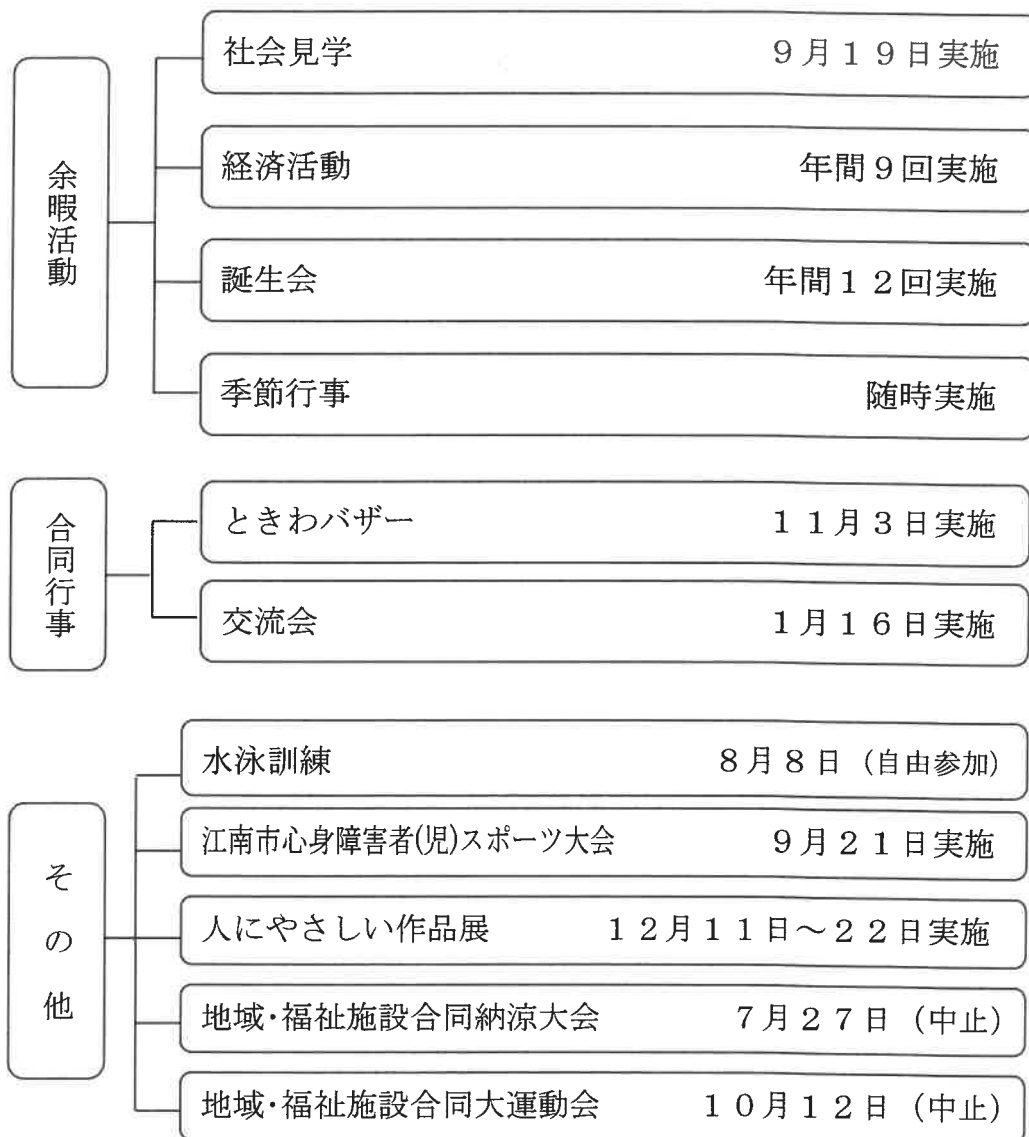
1 生産活動



2 創作的活動 (ときわ・小規模共通)



3 その他の活動 (ときわ・小規模共通)



4 健康支援

健康調査表、健康診断の結果、日常の健康観察を行うことで、適切に健康面の把握をすることができた。また、歯科衛生士による「健康教育」、「歯磨き指導」を継続して行ったことにより、歯磨き習慣が付いてきており、歯と歯肉、口腔内の健康の保持増進につなげることができた。

5 給食支援

委託業者と連携を図り、身体状況に応じた刻み食の提供や残食量の把握、選択できる献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。

衛生面では、厨房床の塗装工事や食器の一部入れ替えを行い、食中毒防止や調理業務の衛生管理に努めることができた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況については、朝礼や終礼を通して情報の共有を図り、利用者の体調面及び精神面の把握に努めたことで、日中の利用者支援の向上にもつなげることができた。

7 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し

利用率等を検証した結果、令和2年度も利用定員の変更はせず、利用者が毎日楽しく通所できる事業所を目指した利用者サービスを提供していくことが必要であると確認できた。

イ 事業所の大規模修繕

安心安全に事業所利用ができるよう、障害の重度化や高齢化に合わせた事業所設備の適切な維持管理等に継続的に取り組んだ。

(2) 利用者サービスの向上

ア 班活動、日課の見直し

生産活動では、ボール洗浄作業を昨年度から試行的に取り入れたことで、利用者も徐々に工程を理解して取り組めるようになり、パンダ班の作業として定着した。創作的活動では、軽運動に班単位での活動の回数を増やしたことで、活動の幅を広げることができた。

日課の朝の会については、班毎にその日に行う活動の確認や「あいうべ体操」が定着した。帰りの会については、翌日の予定の確認を進め利用者への事前周知の徹底に結び付けることができた。

イ 工賃の見直し

生産活動の収支バランスの改善が図れたため、減額支給をすることなく、平成30年度と同様の工賃の支給ができた。また、ときわ作業所、小規模授産施設が同一水準での工賃支給を継続していくためにも、客観性のある個別支援計画と連動させた工賃基準の確立に向けて検討をすすめる必要があると確認できた。

ウ 送迎サービスの見直し

保護者の利用者送迎困難時や電車等の公共交通機関及び有償送迎で通所している利用者に対して、送迎サービスを実施した。送迎サービスを実施する利用者の自己負担金を無くすことを目的に、これまでの有償旅客運送による送迎から生活介護事業の送迎加算に対応した内容への変更に向けて検討した。

送迎対象利用者として9月より新たに1名(月曜日のみ)を追加した。また、「保護者送迎困難時の留意事項」を基にした、緊急時送迎として2名の利用者に対して実施した。

(3) 設備等ハード面の充実

ア 事業所の整備

利用者の安全面に配慮し、玄関前のブロック塀の撤去工事及びカーポートの撤去を進めたことで、利用者の障害の重度化、高齢化に対応した事業所の環境改善につなげることができた。

生産活動報告

1 ひまわり班

①印刷 [印刷物一般]

名刺印刷は、江南市の指定台紙を中心にお客様のニーズにできる限り対応したことで、納品の際には利用者に対して感謝の言葉を掛けていただくことができた。印刷した名刺に市章プレスを押す作業や納品業務に利用者が携わり、製品が仕上がっていく過程を理解し、仕事に対する責任感を養うとともに完成した喜びを感じることができた。

②ボカシ [EMボカシ製造・販売]

多くの利用者が製品になるまでの工程に携われるよう、工程毎に分担し取り組むことで責任感を養うことができた。販売店への納品業務は毎週2回行い、売上数や商品の状態を把握することで、品質を一定に保つことができた。納品先の職員や地域の方々から励ましの言葉掛けや新たな販売店の紹介をしていただき、利用者の意欲向上につなげることができた。

③園芸 [野菜・葉ボタン等]

野菜販売や葉牡丹の鉢植えの販売が大変好評であった。畑の水やりから利用者も携わることで、野菜の育ち具合も確認することができ、収穫の楽しみにつなげることができた。また、いも掘りについても、皆で協力して育ててきたという充実感溢れる笑顔が多くみられ協調性、責任感を養うことができた。

④リサイクル [アルミ缶・ダンボール回収等]

ダンボール等の回収業務は、事業所内で整理整頓し、こまめに納品をすることで急な回収依頼にも対応することができた。他の作業の流れも考慮しながら、多くの利用者が回収業務に参加できるように、2週間ごとにスケジュールを立て取り組んだ。また、アルミ缶分別の作業やダンボールの積み下ろし作業については、利用者が協力し合い作業を進めることができた。

⑤ガス器具部品組み付け [リンナイ(株)]

資材の組み付けや納品以外にも、納品箱の清掃や納入カードの準備、トラックの積み下ろし作業等、利用者が幅広い工程に携わることで自信にもつながった。また、かんばん(資材)管理表を基に業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れずに対応することができた。

⑥ハンガー組み立て [株エイワ商事]

工程毎に分かりやすく利用者に説明しながら役割分担をしたことで、一人ひとりが作業の大切さを自覚して資材の不良を見分けられるようになり、質の高い製品作りができた。利用者の特性に合わせた組み立て、バネ付け、型はめ、シール貼り等、数多く工程を設けることで多くの利用者が携われる作業となり、作業意欲の向上につながった。

2 パンダ班

①手芸 [絞り染めタオル等]

絞り染めについては、作業工程を増やして製品づくりをしたことで、仕上がりの模様を楽しみにし、やりがいを持って多くの利用者が携わることができた。ロビー販売や各種バザー販売の際には、ねぎらいの声を掛けてもらうこともあり、製品作りの喜び、充実感を得ることができた。

フェルト製品では、季節に合わせた商品に力を入れたことで、その時期のリースや小物製品などが販売先でも好評で、地域との交流にもつなげることができた。

②ボール洗浄 [(有)モードテラ]

障害の程度に関わらず、障害特性に合わせて作業工程を工夫したことで、多くの利用者が携わることができる作業として定着した。また、作業工程を丁寧に説明し、必要な備品を整えることで、少しずつ自信を持って取り組めるようになった。利用者が自信を持つことで、不良品の選別についても自ら判断することができた。納品業務に携わる利用者も増え、社会とのつながりを意識することができた。

③PPバンド [株エルスタット]

利用者の特性に合わせた作業工程にすることで、それぞれの役割を正確に取り組むことができ、作業を通して社会に貢献していることを自覚することができた。多くの利用者が携われる作業となり、協力して取り組む中で協調性や責任感を養うことができた。

創作的活動報告（ときわ・小規模共通）

1 療育活動

音楽療法

音楽療法は、毎月外部講師を招いて行い、利用者が歌う楽しさや楽器の音色、音を体で表現することなど音楽には色々な楽しみ方があることを感じ取ることができた。また、卓上ベルを使用して他の利用者の前で発表をすることで自信を持ち、音楽療法を楽しむに利用者が増え、情緒の安定にもつながった。

年間11回実施

2 文化活動

①軽運動

障害の重度化、高齢化や運動不足に対応することを目的に、外部講師を招き活動をした。班単位での活動の回数を増やしたりボッチャ大会を開催したりと体を動かす意識を高めるとともに、体力の維持・向上にもつなげることができた。軽運動を通して利用者の生活にメリハリが付き、笑顔も増え余暇の過ごし方や興味の幅を広げることができた。

年間23回実施

- ・ストレッチ（6回）
- ・ボッチャ（15回）
- ・フライングディスク（2回）

②貼り絵、絵画等

季節に合わせた作品や作品展に向けて合同作品を活動班ごとに協力して作ることに
より、仲間と一緒に作り上げる喜びや達成感につなげることができた。

随時実施

3 クラブ活動

①スポーツクラブ

フライングディスクやボール運動に加え、フォークダンスやリズムに合わせたダンスを取り入れたことで、体力の維持・向上と想像力を養うことにつながった。また、季節に合わせて縁日や秋祭りも取り入れ、総合的な活動とすることができた。

年間12回実施

②音楽クラブ

利用者の希望を取り入れ、1年間の計画を立て実施した。身近なものを使った楽器作りや、卓上ベル・ハンドベルの演奏等、様々な角度から音楽に親しみ、作業の気分転換を図った。活動のはじめには音楽に合わせて体を動かす軽運動を取り入れた。また、フラワーパークでの散歩や、数種類のカードゲーム等を取り入れることで、活動の幅も広げることができた。

年間12回実施

その他の活動報告（ときわ・小規模共通）

1 余暇活動

①社会見学

三重県にオープンしたおやつタウンに出掛け、館内のブースの見学、自分で好みの味付けをするベビースター作りの体験をすることができた。日頃の事業所での活動を離れ、他の利用者と一緒に楽しみながら教養を高め、集団行動の中でのマナーも身に付ける機会となった。

実施日 令和元年9月19日

おやつタウン、ガーデンカフェルーベル

②経済活動

日頃の生産活動を離れ、工場見学や博物館、プラネタリウムに出掛けたり、キッチンカーを招いたり、仲間とともに地域の方との交流を図ることができた。利用者が中心となり、行き先や昼食内容を予算内で計画し、予算内でお土産を選ぶことで金銭の価値を学ぶ体験となり、充実感も得ることができた。

年間9回実施

③誕生会

利用者中心で誕生会を実施し、仲間から祝福される喜びを感じるとともに、仲間を祝福する気持ちも育むことができた。

年間12回実施

④季節行事

スポーツ大会など各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取り、地域の中で社会生活を送っていることの喜びを感じることができた。

事業所内の主な季節行事

なかよし会（11月13日）

事業所内の運動会としてKTXアリーナにて実施した。4チームによるビーチボールサッカー、リレーに加え、今年度は参加者全員でフォークダンスを楽しみながら交流を図ることができた。また、競技や応援を通して集団生活での協調性やマナーを身に付けることができた。

クリスマス会（12月20日）

一宮マジッククラブの方を招いたマジックショー、ケーキタイム、紐ひき、「サンタと愉快的仲間たち」と楽しい時間を過ごすことができた。また、感染症予防対策のため、マジックショーを除いて各班ごとでの活動となったが、会場の装飾や準備を利用者と職員が一緒に行い、有意義な時間とすることができた。

2 合同行事

①第39回ときわバザー(令和元年11月3日)

利用者の参加しやすいバザーとなるよう職員配置や模擬店内容の見直し、多くの利用者がゲームコーナー、施設製品や葉ボタンの販売に携わり、職員や保護者と一緒にイベントにも参加することができた。バザーに向けて会場を季節感が出るように飾付け、合同行事や各施設・事業所の紹介をする掲示の準備をすすめた。当日は天候にも恵まれ、地域の方にもたくさん参加していただき、交流を深める良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園、ニコット

②交流会(令和2年1月16日)

食事会では「優しいあの子」の発表や食事を通して、法人内の利用者同士の交流を深めることができた。また、江南市のマスコットキャラクター「藤花ちゃん」からテーブル毎に藤の花のプレゼントをもらったり、江南消防音楽隊の演奏に合わせてステージ前で一緒に踊ったりと、楽しい時間を過ごすことができた。

開催場所 すいとびあ江南

3 その他

①水泳訓練(令和元年8月8日)

利用者の重度化・高齢化及び熱中症予防のため事業所行事としての参加は中止。

②江南市心身障害者（児）スポーツ大会(令和元年9月21日)

スポーツ大会では、近隣施設の方々と一緒にボッチャの競技に参加し、日頃の練習の成果もあり、優秀な成績を収めることができた。気持ちの良い汗を流し、交流を深めながら楽しく過ごすことができた。

開催場所 KTXアリーナ

③人にやさしい作品展(令和元年12月11日～22日)

仲間と一緒に作品づくりを協力して行う中で、自分の役割をしっかりと担い、やり遂げることで達成感を得ることができた。また、多くの方に作品を見ていただくこともでき、作品づくりの楽しさや喜びを感じることができた。

開催場所 江南市役所西分庁舎

④地域・福祉施設合同納涼大会(令和元年7月27日)

天候不順により中止。

⑤地域・福祉施設合同大運動会(令和元年10月12日)

天候不順により中止。

令和元年度 ときわ作業所行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 25	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4. 20 ～5. 6	藤まつり (偶数日参加)
7. 4	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所 尾北歯科医師会	5. 26	こどもフェスティバル
7. 11	歯科検診		6. 2	きそがわほのぼのまつり
7. 23	あゆみエンジョイSummer	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		
7. 27	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止)			
8. 8	水泳訓練 (中止)			
9. 19	社会見学 (おやつタウン)			
9. 21	心身障害者(児)スポーツ大会 (K T Xアリーナ)	障害者 (児) 連絡協議会		
10. 2	いも堀り			
10. 12	地域・福祉施設合同大運動会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会	10. 3	古知野高校文化祭
11. 3	第39回ときわバザー	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同	10. 13	ふくし江南ふれあいまつり
11. 13	なかよし会(K T Xアリーナ)		11. 9 ～10	こうなん産業フェスタ
12. 11 ～22	人にやさしい作品展 (市役所西分庁舎)	障害者 (児) 連絡協議会		
12. 20	クリスマス会			
1. 16	交流会(すいとびあ江南)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園合同		
3. 3	健康診断	藤原医師	3. 8	たけのこまつり (中止) いずみまつり (中止)
その他			事業所実習	
身体測定	1 2 回実施		古知野高校	12名 (7月～8月)
誕生会	1 2 回実施		愛知教育大学	12名 (9月～11月)
クラブ活動	1 2 回実施		玉川大学	1名 (9月)
経済活動	9 回実施		尾北看護専門学校	12名 (1月～2月)
避難訓練	3 回実施 (内 1 回水防)			
保護者会	1 1 回実施			
医療相談	1 2 回実施			

利用者の状況

1 市町村別

令和2年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	28人	17人	45人	8人	13人	24人
一宮市	2	2	4	0	0	4
扶桑町	0	0	0	0	0	0
合計	30	19	49	8	13	28

2 障害支援区分別

令和2年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	2人	12人	9人	7人	30人
女	0	0	6	4	8	1	19
合計	0	0	8	16	17	8	49

3 年齢別

令和2年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	1人	3人	13人	10人	2人	1人	30人	38.9歳
女	0	6	2	6	4	1	19	41.3
合計	1	9	15	16	6	2	49	39.8

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	938人	887人	954人	986人	850人	902人
稼働日数	21日	20日	22日	23日	20日	21日
1日当たり 平均利用人数	44.7人	44.4人	43.4人	42.9人	42.5人	43.0人
契約人数	50人	50人	50人	49人	49人	49人
利用率	89.3%	88.7%	86.7%	87.5%	86.7%	87.7%

10/12台風のため22日⇒21日

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	908人	918人	833人	832人	827人	911人	10,746人	895.5人
稼働日数	21日	22日	21日	20日	20日	22日	253日	21.1日
1日当たり 平均利用人数	43.2人	41.7人	39.7人	41.6人	41.4人	41.4人		42.5人
契約人数	49人	49人	49人	49人	49人	49人	591人	49.3人
利用率	88.2%	85.2%	81.0%	84.9%	84.4%	84.5%		86.2%

利用率 定員55人のところ契約人員49人 平均利用人数42.5人 利用率86.2%

年間述べ10,746人が利用

年間稼働日数 253日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 事業所本体

	生活介護	特定費用等	金額
令和元年度	85,057,103円	3,531,530円	88,588,633円
平成30年度	86,646,497円	3,603,657円	90,250,154円
差引	-1,589,394円	-72,127円	-1,661,521円
前年比	98.2%	98.0%	98.2%

利用料収入は、台風による事業所休所日が1日増加及び年度途中で1名の退所、長期入院があり、1,661,521円の減収となった。

(2) 日中一時支援

	金額
令和元年度	55,980円
平成30年度	134,612円
差引	-78,632円
前年比	41.6%

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
令和元年度	5,435,487 円
平成30年度	5,470,933 円
差 引	-35,446 円
前 年 比	99.4 %

前年度に比較して、額で35,446円、率で0.6%の減収であった。

(2) 内訳

①自主作業収入

	金 額
令和元年度	1,839,504 円
平成30年度	1,900,974 円
差 引	-61,470 円
前 年 比	96.8 %

自主作業収入は、前年度に比較して、61,470円の減収であった。

②下請作業収入

	金 額
令和元年度	3,595,983 円
平成30年度	3,569,959 円
差 引	26,024 円
前 年 比	100.7 %

下請作業収入は、前年度に比較して、26,024円の増収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合計
		30人	19人	49人
食 事	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	16	13	29
	自立(見守り・声掛け)	14	6	20
排 泄	全 介 助	1	0	1
	一 部 介 助	20	11	31
	自立(見守り・声掛け)	9	8	17
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	13	13
	自立(見守り・声掛け)	—	6	6

日中一時支援事業の状況(年間4名・延べ利用日数10日)

1 契約状況(江南市)

令和2年3月31日現在

市町村名	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
江南市	2人	2人	0人	0人	4人

2 障害支援区分

令和2年3月31日現在

区分	児童(18歳未満)		成人(18歳以上)		合計
	男	女	男	女	
区分1・非該当	2人	2人	0人	0人	4人
区分2	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	0	4

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	児童		成人		合計	平均年齢
	12~15歳	16~18歳	18~19歳	20~29歳		
男	1人	1人	0人	0人	2人	15.5歳
女	1	1	0	0	2	15.5
合計	2	2	0	0	4	15.5

令和元年度 ときわホーム 事業報告書(案)

1 ときわホームの運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 事業所名 ときわホーム「ニコット」
 所在地 江南市河野町五十間115番地
 事業内容と定員 共同生活援助(介護サービス包括型)事業 6名(現員6名)
 職員等 [職員]・正規10名・契約2名・世話人4名 計16名

職員 (単位:人)

	施設長	副施設長	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	※ ₃ 1	0	※ ₄ 5	8
女	0		0	(4)	※ ₄ 4	4(4)
合計	1	1	1	(4)	9	12(4)

()内はパート職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所及び江南市中心身障害者小規模授産施設施設長を兼務

※₂は、ときわ作業所副施設長を兼務

※₃は、ときわ作業所支援副主任を兼務

※₄は、ときわ作業所生活支援員を兼務

2 事業総括

利用者がホームで楽しく、充実した共同生活を送るために入浴、排せつ及び食事等の援助や相談、調理、洗濯、掃除等の日常生活上の支援を行った。

6名の利用者が良好な関係を築き、共同生活の役割を担い、自立した生活を送ることを目標に支援した。協力が必要な場面では6名がお互いに「声を掛け合うこと」を意識し、一人ひとりが責任を持つことができるような支援に努めた。

年間を通して6名それぞれの「思い」がぶつかり合うことが日常的にあったが、その都度、支援員や世話人が傾聴し、生活のルールを見直したことで、ジュース用の金銭管理や自らの居室の鍵の保持も定着し、その後の生活につなげることができた。

週末をホームで過ごす利用者の増加に対応し、定期的な散歩や喫茶店等への外出や、世話人による利用者の家事の幅が広がるような支援により、週末の生活を安定させることに努めた。

ホームの一日の平均利用人数は5.1人で利用率は84.7%であった。利用料収入は、週末に帰省される方が減少したこともあり、前年度に比べて額で310,679円、率では3.0%の増収であった。

事業内容

1 事業支援

利用者の環境、年齢及び心身の状況に応じた個別支援や余暇活動等を行い、ホームでの生活の充実と地域への積極的な参加を図った。

6名の利用者が良好な関係を築きながら、共同生活の役割を担い、自立した生活を送ることを目標に支援した。協力が必要な場面では6名がお互いに「声を掛け合うこと」を意識して支援した。年間を通して6名それぞれの「思い」がぶつかり合うことが日常的にあったが、その都度、支援員や世話人が傾聴し、生活のルールを見直したことで、ジュース用の金銭管理や自らの居室の鍵の保持も定着し、一人ひとりが責任を持つことができるような支援に努めた。その後の生活につなげることができた。

食事は、日々の身体状況や身体測定の推移も見ながら、健康状態に応じた提供をした。また、日中活動の事業所の給食の献立と重ならないよう柔軟に対応した。特に夕食は、季節感のあるメニューを取り入れたり、誕生者のリクエストメニューを加えるなど楽しみの持てる献立に努めた。

[主な取り組み]

- ・誕生者リクエストメニュー その都度（誕生者が希望した一品）
- ・居室の鍵の保持

2 健康支援

利用者の健康管理は、日中活動の事業所の看護師と連携し、体温や血圧などのバイタルチェックを行うことで健康な生活を送ることができた。また、体調不良が見られた際には嘱託医への相談、保護者や支援員による通院で大病になることなく元気に過ごすことができた。

11月にインフルエンザ予防接種を希望された利用者が、藤原医院を通院し、接種することができた。

3 余暇支援

①外出・休日余暇活動

余暇時間や休日を利用しホーム近辺の散策を兼ねて外出した。利用者会議等で行き先や食事について話し合い、利用者主体の計画で行うことに努めた。事前に店の場所やメニュー等の説明をしたことで、当日を迎えるまで楽しみを持って過ごすことができた。

[実施回数] 年5回実施

[主な行き先] ファミリーレストラン、買い物など

②誕生会

誕生者のリクエストメニューを全員で食べ、お祝いするとともに、一年間健やかに過ごせたことを皆と感謝しながら、楽しい会食時間を過ごすことができた。

[実施回数] 年6回実施

③ 季節行事

春のお花見会は、曼陀羅寺の藤まつりに出かけ、公園内を散策したり、色々な出店で昼食を兼ねた買い物を楽しんだ。秋の十五夜には、月見のお供えを飾り、夕食の時間をゆっくり楽しんだ。年末の忘年会はインフルエンザ感染症対策のため、中止し、年始に新年会を行い、一年間の目標を発表した。

[実施回数] 年3回実施

4 地域生活支援

月2回ある不燃ごみのゴミ出しの日は、指定の収集場所で地域の方たちと挨拶を交わしながら分別処理を行った。近隣施設が地域住民の方たちをお迎えし、合同で行う夏の納涼行事「地域・福祉施設合同納涼大会」は天候不順のため、中止となった。

[実施回数] 実施せず

5 入院時・外泊時の支援

外泊時は、必要に応じ家庭に連絡し、本人の状態把握等を行った。

6 バックアップ施設、関係機関との連携

日常よりバックアップ施設と情報共有を図り、利用者の活動を支援する中、連携を密に行った。また、緊急時や利用者の体調不良等の場合には、日中の時間帯はときわ作業所と連絡調整し適切に対応した。

7 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

週末の支援体制

週末のホーム利用日は昨年度と比べ増加しているが、今年度新たに生活支援員と世話人が1名ずつ増えたことで、勤務体制の安定につながった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 日課の見直し

利用者会議では利用者主体となり、誕生日会の司会を決めたり、外出行事の行き先を決めるなど、自発性が見られるものとなった。外出活動ではホーム周辺の散歩や喫茶への外出を多く取り入れたことで、気分転換にもつながり安定した生活を送ることができた。

イ 利用者支援の見直し

体調不良や緊急時の対応順番の確認やバックアップ事業所との連携により、日中活動に支障をきたすことなく支援することができた。保護者と連携を図り、体調不良や通院等の対応を適切に行うことができた。

(3) 設備等ハード面の充実

スプリンクラーの設置

現在の利用者の体制での設置義務はないが、今後の利用者の重度化に備え調査研究を進めた結果、大規模な工事を要する一般的な水道連結型以外にも用途や規模に合わせて比較的簡便に整備できるパッケージ型の自動消火設備があることなどが分かった。

令和元年度 ときわホーム 行事報告

月 日	行 事 等	月 日	関 係 団 体 行 事
4. 9	誕生会		
28	曼陀羅寺花見会		
		7. 27	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止) [合同行事運営委員会]
8. 29	誕生会		
9. 17	誕生会		
21	外食会		
24	花火会		
10. 16	お月見		
11. 20	インフルエンザ予防接種		
22	避難訓練		
27	インフルエンザ予防接種		
12. 26	忘年会 (中止)		
1. 24	誕生会		
1. 28	誕生会		
1. 29	新年会		
2. 21	誕生会		
3. 21	避難訓練		
[各種会議・研修・その他] ホーム会議 [12回実施] 世話人会 [12回実施] 家族会 [3回実施] 3月の家族会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 利用者会 [12回実施]			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況（市町村別）

令和2年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	5人	0人	0人
一宮市	0	1	1	0	1	0	0
合計	0	6	6	0	6	0	0

2 障害支援区分別

令和2年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	4	2	0	0	6
合計	0	0	4	2	0	0	6

3 年齢別

令和2年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	3	3	0	6	49.5
合計	0	0	0	0	3	3	0	6	49.5

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	159人	144人	152人	165人	150人	152人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり平均利用人数	5.3人	4.6人	5.1人	5.3人	4.8人	5.1人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	88.3%	77.4%	84.4%	88.7%	80.6%	84.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	160人	163人	138人	142人	163人	172人	1,860人	155人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	30.5日
1日当たり平均利用人数	5.2人	5.4人	4.5人	4.6人	5.6人	5.5人		5.1人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人		
利用率	86.0%	90.6%	74.2%	76.3%	93.7%	92.5%		84.7%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数5.1人 利用率84.7% 年間延べ1,860人が利用

年間稼働日数 366日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先		人数	
就 労		0人	
サ ー 障 害 ビ フ ッ ス 社	生活介護	6人	
	就労移行支援	0人	
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
地域活動支援センター	I型	0人	
	II型	0人	
	III型	0人	
合 計		6人	

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	介護給付費	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和元年度	8,031,273 円	720,000 円	1,944,000 円	10,695,273 円
平成30年度	7,720,594 円	720,000 円	1,944,000 円	10,384,594 円
差 引	310,679 円	0 円	0 円	310,679 円
前年比	104.0%	100.0%	100.0%	103.0%

令和元年度 江南市心身障害者小規模授産施設 事業報告書(案)

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域生活支援事業
 事業所名 江南市心身障害者小規模授産施設
 所在地 江南市後飛保町高瀬66番地
 事業内容と定員 地域活動支援センター(Ⅲ型)
 概ね15名(現員12名)
 対象者 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし)
 職員数 常勤5名(正規4名・契約1名)・非常勤1名 計6名

職員 (単位:人)

	施設長	事務員	指導員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	2	4
女			1 (1)	1 (1)
合計	1	1	3 (1)	5 (1)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、あゆみ事務員を兼務

2 事業総括

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

下請作業は、親会社の生産計画により時期による作業量の増減は見られたが、指定期日に遅れることなく仕上げることで、やりがいや責任感を養うことができた。

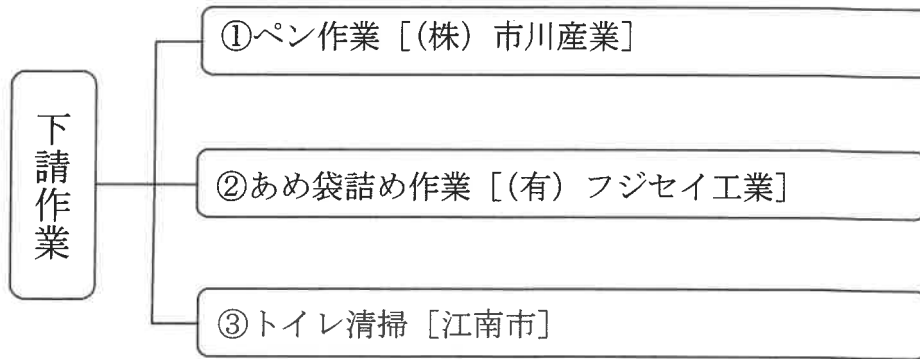
ガーデニングについては、利用者の希望や季節に合わせた草花を育て、季節を感じる事ができた。また、野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫した野菜を皆で食べ達成感を得ることができた。

健康支援は、利用者の体調把握に注視しつつ、看護師による健康チェック等を行うなど、快適に過ごせるよう努めた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立やきせつのおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。

施設の稼働日数は253日、平均利用人数は11.6人で利用率は96.9%であった。

3 生産活動



4 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

指定管理契約の更新

令和2年度に第3期指定管理満了となるため、第4期指定管理の契約に向けて江南市と権限委譲の内容も含めて協議を行った。

(2) 利用者サービスの向上

(ときわ作業所と一体的実施)

生産活動報告

下請作業

①ペン作業 [(株)市川産業]

作業の種類、工程共に多い仕事であるが、個々の利用者が理解して取り組むことのできる工程も増え、丁寧かつ正確に、資材の不良がないかまで確認しながら作業に取り組むことができた。資材の受け渡しは親会社の生産予定により急ぐこともあったが、事前に施設の日程等を調整すると共に、納期に合わせるという責任感を持ち、納期に間に合うように協力して取り組むことができた。

②あめ袋詰め作業 [(有)フジセイ工業]

食品を扱う作業であるため、作業開始前の手洗いや消毒、衣服のほこり取りを徹底した。あめの変形等の不良品選別を自発的に注意して行うことで「お客様が食べる物」と意識し、一定の品質を保って出荷することができ、責任感を養うことができた。また、袋詰め作業の種類に応じて、あめ玉の数や色の配列に注意し、仕上がった際の達成感を得ることができた。

③ トイレ清掃 [江南市]

トイレ内の床や便器の清掃と拭き取り、消毒に至る一連の流れについて丁寧に取り組み、清潔なトイレ環境を保つことに努めた。利用者は当番制で行うため、毎回、当番を確認することで各々が責任を持って取り組むことができた。

創 作 的 活 動 報 告

1 療育活動

※ときわ作業所と一体で実施

2 文化活動

① 貼り絵、絵画、ストレッチ等

※ときわ作業所と一体で実施

② ガーデニング

利用者の希望や季節に合わせたあさがおやシクラメン等の花の育成、ゴーヤや風船かずらの栽培によるグリーンカーテンづくりをし、季節感や清涼感を得ることができた。オクラや枝豆等の野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培した。また、収穫した野菜を皆で食べ達成感を得ることができた。

3 クラブ活動

※ときわ作業所と一体で実施

そ の 他 の 活 動 報 告

※ときわ作業所と一体で実施

行 事 報 告

※ときわ作業所と一体で実施

令和元年度 小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 25	県障害者スポーツ大会 (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4. 20 ～5. 6	藤まつり (偶数日参加)
7. 4	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5. 26	こどもフェスティバル
7. 11	歯科検診	尾北歯科医師会	6. 2	きそがわほのぼのまつり
7. 23	あゆみエンジョイSummer			
7. 27	地域・福祉施設合同納涼大会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		
8. 8	水泳訓練 (中止)			
9. 19	社会見学 (おやつタウン)			
9. 21	心身障害者(児)スポーツ大会 (K T Xアリーナ)	障害者 (児) 連絡協議会		
10. 2	いも掘り			
10. 12	地域・福祉施設合同大運動会 (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会	10. 3	古知野高校文化祭
11. 3	第39回ときわバザー	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同	10. 13	ふくし江南ふれあいまつり
11. 13	なかよし会(K T Xアリーナ)		11. 9 ～10	こうなん産業フェスタ
12. 11 ～22	人にやさしい作品展 (市役所西分庁舎)	障害者 (児) 連絡協議会		
12. 20	クリスマス会			
1. 16	交流会(すいとびあ江南)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園合同		
3. 3	健康診断	藤原医師	3. 8	たけのこまつり (中止) いずみまつり (中止)
その他			事業所実習	
身体測定	1 2 回実施		古知野高校	12名 (7月～8月)
誕生会	1 2 回実施		愛知教育大学	12名 (9月～11月)
クラブ活動	1 2 回実施		玉川大学	1名 (9月)
経済活動	9 回実施		尾北看護専門学校	12名 (1月～2月)
避難訓練	3 回実施 (内 1 回水防)			
保護者会	1 1 回実施			
医療相談	1 2 回実施			

利用者の状況

1. 利用状況

令和2年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	6人	6人	12人	0人	0人	12人
合計	6	6	12	0	0	12

2. 年齢別

令和2年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	4人	1人	0人	0人	6人	36.8歳
女	0	1	5	0	0	0	6	33.3
合計	0	2	9	1	0	0	12	35.1

3. 月別利用状況

令和2年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	258人	246人	264人	285人	240人	248人
稼働日数	21日	20日	22日	23日	20日	21日
1日当たり平均利用人数	12.3人	12.3人	12.0人	12.4人	12.0人	11.8人
契約人数	13人	13人	13人	13人	13人	13人
利用率	94.5%	94.6%	92.3%	95.3%	92.3%	90.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	253人	244人	223人	222人	218人	240人	2,941人	245.1人
稼働日数	21日	22日	21日	20日	20日	22日	253日	21.1日
1日当たり平均利用人数	12.0人	11.1人	10.6人	11.1人	10.9人	10.9人		11.6人
契約人数	13人	12人	12人	12人	12人	12人	151人	12.6人
利用率	92.7%	92.4%	88.5%	92.5%	90.8%	90.9%		96.9%

利用率 定員概ね15人のところ契約人員12人 平均利用人数11.6人 利用率96.9%

年間述べ2,941人が利用

年間稼働日数253日

4. 生産活動収入の状況

	金額
令和元年度	933,114円
平成30年度	835,824円
差引	97,290円
前年比	111.6%

生産活動収入は、前年度に比較して97,290円の増収であった。

令和元年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ 事業報告書(案)

1 あゆみの運営

設置主体	江南市		
経営主体	社会福祉法人 ときわ会		
事業種別	地域生活支援事業		
事業所名	江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ		
所在地	江南市後飛保町平野75番地2		
事業内容と定員	(1) 地域活動支援センター(Ⅱ型)	1日25名	
	(2) 貸館事業	随時	
対象者	地域活動支援センター(Ⅱ型) 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし) 貸館事業 障害者の介護者・障害者団体・ボランティア団体		
職員等	[職員]・常勤4名(正規4名)・非常勤8名	計12名	
	[他]・講師(日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法 和太鼓療法・書画・パソコン)	計6名	

職員

(単位：人)

	施設長 兼指導主幹	指導員	事務員	運転手	看護師	合計
男		1	※ ₁ 1	※ ₂ (3)		2 (3)
女	1	1 (3)			※ ₃ (2)	2 (5)
合計	1	2 (3)	1	(3)	(2)	4 (8)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設事務員を兼務

※₂は、内2名はときわ作業所生活支援員補助を兼務

※₃は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター事業及び障害者団体等への貸館事業を行った。

地域活動支援センターの利用状況は、1名の新規利用者の受け入れをしたが、1名が施設入所、1名が県外へ転出、1名が長期入院から県外の病院へ転院により計3名が退所され、3月31日現在で12名が契約し1日あたりの平均利用人数は7.2人であった。

事業面では、軽作業の作業内容や役割分担の見直しを行い、個々の取り組み方を検討することができた。機能訓練を取り入れた日課では、令和2年度からの開始に

向け、利用者に分かりやすい日課の可視化についてすすめることができた。

健康面においては、看護師による健康チェックのほか職員間で情報を共有することで体調から精神面までを把握し、利用者支援の向上に努めた。

また、第5回目を迎えた「あゆみエンジョイSummer」を開催した。ゲーム等を通して法人内の利用者同士の交流の場、あゆみ利用者の和太鼓発表の場として日頃の取り組みの成果を披露し、盛況に実施することができた。

合同行事としては、法人のときわバザーに参加し、利用者や地域の人々と交流を深めることができた。

事業内容

1 基本事業

①機能訓練（5事業 126回実施）

ア 日常生活動作訓練（24回実施 166人利用）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や軽運動を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（65回実施 519人利用）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（12回実施 79人利用）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（12回実施 75人利用）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

オ 和太鼓療法（13回実施 87人利用）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

②社会適応訓練（2事業 72回実施）

ア パソコン（49回実施 304人利用）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ（23回実施 132人利用）

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、月2回行った。

③創作的活動（2事業 240回実施）

ア 書画（9回実施 56人利用）

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業（231回実施 1,430人利用）

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション（12回実施 90人利用）

レクリエーション活動を月1回行った。（社会見学、スポーツ大会、カラオケ等）

⑤入浴（236回実施 1,408人利用）

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎（839回実施 2,167人利用）

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導（0回実施 0人参加）

消防署職員の指導のもと、異物除去の介護方法やAED（除細動器）を使った心肺蘇生法などについての講習を受けた。

⑧健康指導（340回実施 340人利用）

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

①第39回ときわバザー

利用者の参加しやすいバザーとなるよう職員配置や模擬店内容を見直し、多くの利用者がゲームコーナー、施設製品や葉ボタンの販売に携わり、職員や保護者と一緒にイベントにも参加することができた。バザーに向けて会場を季節感が出るよう飾り付け、合同行事や各施設・事業所の紹介をする掲示の準備をすすめた。当日は天候にも恵まれ、地域の方にもたくさん参加していただき、交流を深める良い機会となった。

開催場所 ときわ作業所、ふじの木園、ニコット

3 貸館事業

・施設利用（11回実施 142人利用）

市内の障害者団体及びボランティア団体等の施設利用に対する調整・管理を行った。

4 中期計画の令和元年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 指定管理契約の更新

令和2年度に第3指定管理満了となるため、第4期指定管理の契約更新に向けて江南市と協議をすすめた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 軽作業、講座、日課の見直し

利用者の個々の心身状態に合わせたマット編み作業の作業内容や役割分担の見直しを継続して行ったことで、個々の取り組み方を検討することができた。

身体機能の維持向上に向け、機能訓練を行う時間を取り入れた日課では、令和2年度からの開始に向け、実施時間や訓練内容を記録した結果を踏まえて、利用者に分かりやすい日課の可視化につなげることができた。

看護記録等の様式の見直しを行い、健康管理の支援の向上に努めた。

イ 入浴、送迎サービス

入浴サービスでは、安心安全に入浴していただけるよう重度化による身体状態の変化に合わせた介助方法の研究を継続して取り組み、介護者の負担軽減や利用者支援の向上を図ることができた。送迎サービスについては、介護者の体調等の事情により緊急時対応として増便を継続した。

令和元年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等
4. 23	あゆみ田楽会
7. 23	あゆみエンジョイSummer
10. 2	社会見学（名古屋港水族館）
10. 9	避難訓練
10. 15	あゆみスポーツ大会
11. 3	第39回ときわバザー
12. 11	人にやさしい作品展
～22	（江南市役所西分庁舎1階ギャラリー）
12. 17	あゆみクリスマス会
1. 28	あゆみ新春カラオケ大会
3. 26	避難訓練

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容
6. 4	見 学 [宮田小学校 2年 17名]
6. 11	見 学 [尾北高校 教師 2名]
6. 25	実 習 [一宮特別支援学校(生徒1名、教師1名) 2名]
～27	
8. 1	研 修 [尾北高校 教師 2名]
～2	
8. 23	実 習 [中部学院大学 1名]
10. 30	見 学 [宮田小学校 2年 16名]

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー
4. 27	藤まつり

利用者の状況

令和2年3月31日現在

1 利用者年齢別 (単位:人)

年 齢	男	女	計
20 歳 未 満	0	0	0
20 ～ 29	2	0	2
30 ～ 39	2	1	3
40 ～ 49	2	1	3
50 ～ 59	1	1	2
60 以 上	2	0	2
合 計	9	3	12

2 障害支援区分 (単位:人)

障害支援区分	男	女	計
6	4	2	6
5	0	0	0
4	3	0	3
3	0	0	0
2	0	1	1
1	0	0	0
非該当	2	0	2
合 計	9	3	12

3 利用日数の構成 (単位:人)

利用日数	男	女	計
20 日 以 上	6	2	8
10 ～ 19	1	1	2
1 ～ 9	2	0	2
合 計	9	3	12

1 利用者の事業別利用状況 ・事業日数 240日 ・利用延べ人員 1,735人 ・1日あたりの平均利用人員 7.2人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	16	2	15	2	16	2	12	2	14	2	13	2	14
	機能回復訓練	6	50	5	43	6	51	6	46	7	60	6	48	6	46
	家事訓練	1	5	1	8	1	9	1	7	1	6	1	5	1	6
	音楽療法	1	8	1	7	1	5	1	6	1	7	1	5	1	6
	和太鼓療法	1	6	1	8	1	8	2	14	1	7	1	4	1	8
小計	11	85	10	81	11	89	12	85	12	94	11	75	11	80	
社会適応訓練	パソコン	4	23	4	28	4	25	4	22	5	35	4	25	4	23
	ストレッチ	2	14	1	6	2	13	2	11	2	11	2	9	2	11
	小計	6	37	5	34	6	38	6	33	7	46	6	34	6	34
	書画	1	7	1	7	1	6	0	0	0	0	0	0	1	5
	軽作業	20	130	18	118	20	140	21	121	18	120	19	115	19	120
小計	21	137	19	125	21	146	21	121	18	120	19	115	20	125	
レクリエーション	1	9	1	9	1	8	1	7	1	7	1	9	1	7	
入浴サービス	20	124	19	128	20	131	22	124	18	113	19	109	20	116	
送迎サービス	75	221	71	208	74	202	78	199	63	165	66	161	71	173	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康指導	29	29	30	30	35	35	36	36	24	24	30	30	28	28	
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	125	383	121	375	130	376	137	366	106	309	116	309	120	324	
総計	163	642	155	615	168	649	176	605	143	569	152	533	157	563	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの 平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	12	2	13	2	14	2	12	2	15	24	166	6.9
	機能回復訓練	7	50	5	45	6	46	5	34	0	0	65	519	8.0
	家事訓練	1	6	1	7	1	7	1	7	1	6	12	79	6.6
	音楽療法	1	6	1	6	1	7	1	6	1	6	12	75	6.3
	和太鼓療法	1	4	1	6	1	7	1	8	1	7	13	87	6.7
	小計	12	78	10	77	11	81	10	67	5	34	126	926	7.3
社会適応訓練	パソコン	5	26	4	25	4	26	4	25	3	21	49	304	6.2
	ストレッチ	2	10	2	12	2	10	2	12	2	13	23	132	5.7
	小計	7	36	6	37	6	36	6	37	5	34	72	436	6.1
創作的活動	書画	1	5	1	6	1	7	1	6	1	7	9	56	6.2
	軽作業	20	109	20	119	18	108	18	108	20	122	231	1,430	6.2
	小計	21	114	21	125	19	115	19	114	21	129	240	1,486	6.2
	レクリエーション	1	7	1	8	1	9	1	5	1	5	12	90	7.5
入浴サービス	20	104	20	120	19	108	18	102	21	129	236	1,408	6.0(日)	
送迎サービス	59	152	74	173	70	168	63	154	75	191	839	2,167	2.6(回)	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
健康指導	33	33	24	24	24	24	21	21	26	26	340	340	340	1.0(日)
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小計	113	296	119	325	114	309	103	282	123	351	1,427	4,005		
総計	153	524	156	564	150	541	138	500	154	548	1,865	6,853		

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	1	9	1	15	1	9	0	0	0	0	1	9	0	0
休日利用	1	10	1	10	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	19	2	25	2	18	0	0	0	0	1	9	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	1	9	0	0	1	9	0	0	1	3	7	63	0.6	5.3
休日利用	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	4	79	0.3	6.6
合計	1	9	1	50	1	9	0	0	1	3	11	142		

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	1	1	0	0	2	19	0	0	0	0	1	1	1	16
実習	0	0	0	0	3	6	0	0	1	1	0	0	0	0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	5	25	0	0	3	5	1	1	1	16

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	37	0.4	3.1
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	0.3	0.6
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0.2	0.3
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	48		